

クロス高校の日常

ブルーデステニィー

【注意事項】

このPDFファイルは「ハーメルン」で掲載中の作品を自動的にPDF化したものです。

小説の作者、「ハーメルン」の運営者に無断でPDFファイル及び作品を引用の範囲を超える形で転載・改変・再配布・販売することを禁じます。

【あらすじ】

ここはとある高校…。少し前までは普通の高校だったが、少子高齢化と女尊男卑が進み、廃校する学校が増えた。

そこで日本政府は廃校になる学校を減らすため、いくつかの学校を一つにすることを決定する。この学校もその一つだ。この学校ができた頃はちゃんとした名前があったが今ではこの学校はこう呼ばれることになる。

クロス高校と…

目次

設定集

| | |
|---------------------------------|----|
| プロローグ?と設定集(現在変更中) | 1 |
| クロス高校の日常登場人物+使用武器一部紹介 | 7 |
| クロス高校の日常登場人物+使用武器一部紹介その2(おまけ付き) | 13 |

本編開始

| | |
|----------------------------------|----|
| 第一話:放課後と高校生 | 23 |
| 第二話:テスト勉強は真面目にやれ | 27 |
| 第三話:飛び級生と留学生には気を付けろ(日常パート) | 32 |
| クロス高校の日常NG | 39 |
| 第四話:寝る時はきちんと戸締まりを(日常パート) | 44 |
| 第五話:練習は真面目にやらないと大怪我をする。 | 50 |
| 第六話:スポーツはルールを守れ | 58 |
| 第七話:シスコンと女の嫉妬と武器のテストは怖い | 66 |
| 嘘予告?:クロス高校の日常×龍が如くOF THE END | 72 |
| 第八話その①:俺達が学校対抗バラエティーに出ることは間違っている | 82 |
| 第八話その②人は丈夫に出来ていると聞くが実際はそうでもない | 89 |
| 第九話 地獄の逃走訓練 | 97 |

設定集

プロローグ?と設定集（現在変更中）

プロローグ?と設定集

ここはとある高校。5年ほど前までは、どこにでもあるような普通の高校だった。

しかしここ最近急激な女尊男卑と少子高齢化が原因で、学校が廃校になることが多くなり、日本全国の学校の2割が廃校することになった。

そこで日本政府は、廃校する学校を減らす為いくつかの学校を一つにすることで廃校する学校を減らそうとした。この高校もその一つだ。

中でも有名な高校が二つある。IS学園と東京武偵校である。

IS学園は女性にしか扱えないIS（インフィニット・ストラトス）の操縦、ISのメカニックなどISに関わる事を学ぶ場所である。

東京武偵校は武偵という武装した探偵を育成する場所で武偵校には様々な学課があり、校則で帯銃帯刀が校則で義務付けられている。

また、この二つの学校以外にもいくつかの学校が一つになっている。この学校ができた時はちゃんとした学校の名前があったが三年ほど前からこの学校はこう呼ばれるようになる、クロス高校と…

登場人物一覧表（予定）

二年A組

担任坂田銀八★（銀魂三年乙組銀八先生シリーズ）

副担任その1南宮邪月（ストライク・ザ・ブラッド）

副担任その2 織斑千冬（インフィニット・ストラトス）

男子生徒←（★は原作主人公）（*は本名不明）（予定）

暁古城★（ストライク・ザ・ブラッド）

沖田総悟（銀魂三年乙組銀八先生シリーズ）

織斑一夏★（インフィニット・ストラトス）

男鹿辰巳★+ベル坊（べるぜバブ）

相良宗介★（フルメタルパニック）
里見孝太郎★（六畳間の侵略者!?!）
志村新八（銀魂三年乙組銀八先生シリーズ）
遠山金次★（緋弾のアリア）
遠山金三（緋弾のアリア）
土方十四郎（銀魂三年乙組銀八先生シリーズ）
山崎退（銀魂三年乙組銀八先生シリーズ）

女子生徒←（☆は原作メインヒロイン）（#は愛称）（予定）
藍羽浅葱（ストライク・ザ・ブラッド）
神崎・H・アリア☆（緋弾のアリア）
エル・ワトソン（緋弾のアリア）
倉野桐葉（六畳間の侵略者!?!）
シャルロット・デュノア#（シャル）（インフィニット・ストラトス）
ティアミス・グレ・フォルトーゼ#（ティア）六畳間の侵略者!?!）
東本願早苗（六畳間の侵略者!?!）
星伽白雪（緋弾のアリア）
峰理子（緋弾のアリア）
ラウラ・ボーデヴィヒ（インフィニット・ストラトス）
ルースカニア・ナイ・パルドムシーハ#（ルース）（六畳間の侵略者!?!）
姫終雪菜☆（ストライク・ザ・ブラッド）
後日二年A組登場キャラクター（出るかも?）
ラ・フォリア・リハヴァイン（ストライク・ザ・ブラッド）
ISヒロインズ（第一期のみ）
坂町近次郎★（まよチキ!）
近衛スバル☆（まよチキ!）

不定期参加キャラクター（出るかも?もしかしたらレギュラー参加）

武藤剛毅

ジャンヌ・ダルク

クラリオーサ・ダオラ・フォルトーゼ# (クラン)

布仏本音# (のほほんさん)

教師+その他関係者

松平片栗虎

高天原ゆとり

綴梅子

蘭豹

服部全蔵

ハタ王子

キャラ設定完

学校設定+その他設定

クロス高校にはIS操縦科、ISメカニック科、武偵科、

普通科があり、IS操縦科とAIS (詳しくは下の武偵課を見ること) は女子生徒と織斑一夏だけが入れる (織斑一夏は男だが、何故かISを動かせるため) が、ISメカニック課は男子生徒でも入れる。

武偵課は (探偵科) (強襲科) (狙撃科) (諜報科) (尋問科)

(鑑識科) (装備科) (車輛科) (通信科) (情報科) (衛生科)

(救護科) (SSR) (CVR) があり、その他にもISで起きた事件を専門とするAISがある

AISと武偵科の生徒は帯銃帯刀が校則で義務付けされる。(人殺しは厳禁)

武偵にはランクがあり、E↓D↓C↓B↓A↓S↓Rまでのランクがある。なお、Sランクは特別なランクでごく限られた人物だけに与えられ、Rランクは小国の軍隊を一人で相手にできる。(Rランクは世界7人しかおらず、日本には1人しかいない)

武偵は2〜8人のチームを作ることができる。クロス高校ではIS科の生徒と一緒にチームを作ることができる。

登録したチームは国際武偵連盟 (IADA) に登録されるためその

事をよく考えてチームを作らなければならない。

クロス高校は基本全寮制で一部屋2〜4人である。狭いが個室が4つあり、風呂、台所もある。

男女混同ありで、その場合は担当の教師に許可を貰わなくてはならない。無断でルームメートを変えてはならない。門限は11時で門限を破ると反省文か1日外出禁止。

(任務などで遅くなった時や、事前に許可をもらった時は罰則は無し。)

土日は基本休日だが、たまに授業がある。外泊する場合は担当の教師に許可を貰わなくてはいけない。但し、長期休暇の場合は許可はいらない。

クロス高校の敷地内には生活用品や食材などを売っている店が幾つかあり、その他にも喫茶店などもある。

クロス高校に中等部が今年から追加される。中等部は普通課と武偵課があり成績上位の場合飛び級する事が可能

オマケ

銀八：「おーしお前ら席に付けーSHR始めんぞー。日直号令。」

キンジ：「(あ、日直俺か)きりーつ、礼。着席。」

銀八：「今日は前もって連絡したとおり席替えするぞー目がわるいやつと前のほうがいいやつは前に来い。」

一夏：「先生、俺黒板の前行っていいですか。」

一部女子：「!!」

銀八：「シスコンか、別にいいぞ。他に前いきたい奴はいるか。」

一夏：「誰がシスコンだ!!」

シャル：「先生僕も黒板の前行っていいですか？出来れば一夏の隣で。」

銀八：「シャルロットか、別にいい「ちよつと待った!!」ぞって誰だ今の？」

ラウラ：「先生それなら私も嫁と隣がいいのですが。」

銀八：「え、お前も？てか嫁って誰だよ？」

ラウラ：「一夏ですが？」

銀八：「いやなんで男の一夏を嫁っていつてんだよ!?」

ラウラ：「日本では好きな人のことを嫁と呼ぶと部下から聞いたのですが？」

千冬：「それは間違った情報だ。直せ。あと、一夏はやらんぞ!!」

一夏：「千冬姉!いつから居てくバキツ!>いで!」

千冬：「学校では織斑先生だ!!ついさつき来た所だ。」

銀八：「出たよブラコン発言(小声)」

千冬：「聞こえてますよ、坂田先生。ちよつとこつち来てください。」
ガシツ!!

銀八：「え、あ、いやちよつとまつ」ズルズル… バタン!

千冬は銀八を教室の外へ強制連行した。その数秒後…:

ドカン!!バキツ!!ズバツ!!と言う音と銀八の断末魔の叫びが聞こえた。

数分後…:

シーン…:

キンジ：「急に静かになったぞ…:」

宗介：「大丈夫なのか…:？」

ルース：「聞こえてはいけない音が聞こえたのですが…:」

ティア：「孝太郎ちよつと様子を見に行つてくれ。」

孝太郎：「わ、わかった」キイク、バタン!!

孝太郎は扉を開け様子を見たがすぐ扉を閉めてしまった。

古城：「ど、どうだった？」

孝太郎：「おお、俺は、な、何も、み、見てない…:」

キリハ：「落ち着け孝太郎!何があつた!?!」

キイク、バタン!

A組全員：「ヒイ!!」

いきなり扉があき、扉から千冬と顔がテレビなどでお見せできないような状態の銀八が出てきた。

A組全員：「せ、センサー!!!」

銀八：「あ…:が…:今週…:号のジャンプ…:読みた…:かつ

た…」

ガクッ!

キンジ：「せ、先生!!ワ、ワトソン早く治療だ!!」

ワトソン：「わ、わかった!!!」

ワトソン治療中…

数分後…

銀八：「は、はいというわけで、誰か他にまえいきたいやついる?」

↑ボロボロ（奇跡的に命に別状はなかった。）

シーン

銀八：「いないみたいだな。じゃ、席替えのくじ引きするぞー」

数分後…

銀八：「よーし終わったな。じゃ、帰る…」待ってください!!」って
またかよ!!今度は何だ?」

土方：「先生、席の変更を要求します!!」

銀八：「土方か… 何でその席が嫌なんだ?」

土方：「俺の後ろが総悟だからですよ!アイツいつも俺のこと殺そうとしてますから。」

沖田：「やだなー土方さんあれはお茶目ですよ。俺は土方さんを殺す気なんてないですよ。」

土方：「じゃあ何でこの間仕事中に後ろからバズーカ撃ったんだ!!!
あともう少して死ぬとこだったんだぞ!!というわけで先生、席の変更
お願いします。」

銀八：「わかった許可する。誰か他に何か要望あるか?」
シーン

銀八：「よーしやつと終わったな。じゃ、日直号令。」

キンジ：「きりーつ、さようなら、礼」

こうして無事?席替えは終わった。

完

クロス高校の日常登場人物＋使用武器一部紹介

クロス高校の日常登場人物＋使用武器一部紹介

★は原作主人公

☆は原作メインヒロイン

坂田銀八 ★

原作：銀魂三年乙組銀八先生シリーズ

2－A担任。

天然パーマで眼鏡をかけている。

学校に居るときは白衣を着ている。

甘いものがとにかく好きで糖尿になりかけであるため、好物のパフェは週に一度しか食べれない。

タバコをよく吸っており、授業中でもくわえている。

たまに煙が出るペロペロキャンディーをくわえているときがある。

使用武器：木刀×1

日本刀×1

織斑千冬

原作：インフィニット・ストラトス

2－A副担任。

ISの日本代表選手だったがとあることが原因で代表選手を辞めることになった。

生身でISと戦闘できる。

使用武器：ISの剣×1

暁古城 ★

原作：ストライク・ザ・ブラッド

2－A生徒。現在強襲科とSSRに所属。

高校一年の春、世界最強の吸血鬼第四真祖になった少年。

吸血鬼になった為、太陽の光が苦手で完全な夜型になったが、その代わり身体能力が上がった。

第四真祖は十二体の眷獣を自分の血に宿しており、血を吸うことで眷獣を使えるようになる。

但し、吸血衝動のトリガーは性的興奮なので女からしか血を吸えない。現在八体使用可能。

使用武器：VZ68スコープオンKC×1

織斑一夏 ★

原作：インフィニット・ストラトス

2 | A生徒。

AIS科所属。

自分が受けようとした高校の入試の試験会場と間違えクロス高校IS操縦科の試験会場に来てしまい、試験会場にあったISを起動させクロス高校に強制入学する事になる。

家事が得意でそのレベルは女のプライドをへし折るほど。

女に良くモテるが鈍感。

専用機は白式。

使用武器：ベレッタC×4改×1

日本刀「雪走」×1

遠山キンジ ★

原作：緋弾のアリア

2 | A生徒。

チーム「バスカービル」リーダー。

入学時は強襲科だったが現在は 探偵科所属。

ランクはE。

性的興奮をするとヒステリアモードという状態になり、思考力・反射神経・判断力が通常の30倍になるが、キンジは中学時代の出来事が原因で女嫌いになった。

潜在的なカリスマ性があり、リーダーの素質がある。

二つ名：「エネイブル」（不可能を可能にするという意味）

また、敵からは「フルヒマン」（呪いの男という意味）

と呼ばれている。

使用武器：ベレッタ・キンジモデル×1

バタフライナイフ×1

デザートイーグル50AE×1

オープンフィンガーグローブ「オロチ」×2

志村新八

原作：銀魂三年乙組銀八先生シリーズ

2―A生徒。

普通科所属。

ボケが多い2―Aの数少ないツツコミの一人。

眼鏡をかけており、眼鏡をかけないと何も見えなくなり何故か眼鏡が本体と思われている。

普通科だが剣道道場の師範代で剣の腕はかなりのもの。

お通ちゃんの大ファン。

使用武器：木刀×1（護身用）

里見孝太郎 ★

原作：六畳間の侵略者!?

2―A生徒。

入学時は普通科だったが現在強襲科所属。

中学時代野球をやっていたので、身体能力は高く強襲科に入ってきたらに身体能力が上がった。

騎士剣での近接戦闘が得意だが、射撃はあまり得意ではない。

使用武器：騎士剣「サグラティン」×1

騎士剣「シグナルティン」×1

S & W M36×1

神崎・H・アリア ☆

原作：緋弾のアリア

2―A生徒。

チーム「バスカービル」副リーダー。

強襲科に所属。

キンジのパートナー。

とある組織に被せられた母親の冤罪を晴らすため組織の人間を逮捕して裁判で証言させる事を目的に行動をしている。

シャーロック・ホームズの曾孫で、アリアはホームズ四世である。

二つ名：「双剣双銃（カドラ）」

使用武器：小太刀×2

コルト・ガバメント×2（ステンレスモデルとスチールモデルが各一丁）

星伽白雪

原作：緋弾のアリア

2―A生徒。

チーム「バスカービル」所属。

SSRに所属。

キンジの幼なじみで、キンジが大好き。

キンジ関係で暴走しやすく、キンジに女が近づくとその女を武力で排除しようとする。

（キンジはこの状態の白雪を心の中で黒雪と読んでいる。この状態の白雪はマジで危険!!）

使用武器：日本刀「色金殺女（イロカネアヤメ）」×1

鎖鎌×1

M60×1

レキ

原作：緋弾のアリア

2―A生徒。

チーム「バスカービル」所属。

狙撃科に所属。

人間の感情をほとんど見せず、「ロボット・レキ」というアダ名がつくほど無表情。

キリングレンジは2051メートル。

使用武器：SVD（ドラグノフ狙撃銃）×1

シャルロット・デュノア

原作：インフィニット・ストラトス

2―A生徒。

入学時はIS操縦科だったが現在はAIS科に所属。

入学時は白式のデータを奪うため男装してクロス高校に入学したが、とある事が原因で一夏にバレてしまい学校を辞めようとしたが一

夏の説得で残る事になる。

今は男装は辞めている。

専用機はラファール・リヴァイブC2

使用武器：グロック18改×2

使用武器説明

一夏使用武器

ベレッタCx4改

ベレッタCx4をフルオート射撃と対IS弾、平賀文が作った特殊な弾を使えるように改造。

使用する弾は9mm×19mmパラベラム弾。

装填数は15発。

平賀文が改造。

雪走（ゆばしり）

良業物50工の一つ。

ワンピースのゾロが使っていた刀。

軽量で扱いやすく、切れ味抜群。

シャルロット使用武器

グロック18改

グロック18を対IS弾と平賀文が作った特殊な弾を使えるように改造。

使用する弾は9mm×19mmパラベラム弾

装填数は17発×2

オマケ

教えて!!銀八先生!!クロス!!

銀八：「BDのリアル友達からこんな質問があったので、お答えします。」

何で学園系の小説が一杯あるのに何でとある入れなかったの？

銀八：「はい、お答えします。完全に忘れてました。」

元々この小説を書こうと思った時は緋弾のアリア、IS、

ストライク・ザ・ブラッド、六畳間の侵略者!、銀魂一部キャラクターでよくね?と思ってたんですね。」

古城「先生、じゃあ何で他の小説とか漫画のキャラクター入れたんですか？」

銀八「そりゃあ、お前考えてみる。上に書いてる小説、銀魂は元々漫画だから置いとくけど上のやつだけだったら男子生徒が少なすぎるからだよ。」

例えばISは男子生徒は主人公の一夏しかないし、緋弾のARIAは男子生徒はいるけど男で普段から出番あんの主人公のキンジだけだからな。途中から金三結構出てくるけど。というわけで今回の教えて!!銀八先生!!は以上!!」

完

クロス高校の日常登場人物＋使用武器一部紹介その2（おまけ付き）

クロス高校の日常登場人物＋使用武器一部紹介その2（おまけ付き）

姫終雪菜 ☆

原作：ストライク・ザ・ブラッド

2－A生徒。現在強襲科とSSRに所属。

世界最強の吸血鬼、第四真祖こと暁古城の監視役。自分が近くで監視できない時は式神を使って監視をする。

中学三年だったが飛び級で2－Aの生徒になった。

古城に好意を持っているが古城には全く気付かれていない。

古城曰く、国家公認ストーカー。

戦闘時は七式降魔機槍「雪霞狼」を使って戦う。素手での戦闘も出来る。

使用武器：七式降魔機槍「雪霞狼」

サイガ12改

S&WM10ビクトリーモデル改

遠山金女（かなめ）

原作：緋弾のアリア

2－A生徒。キンジの妹。

キンジの父のHSS（ヒステリア・サヴァン・シンドローム）の遺伝子を組み込まれている、キンジの遺伝子上の妹。

金女という名はキンジがつけた名前でキンジに名前をつけて貰うまでは、GIV（ジーフォース）と名乗っていた。

キンジのことがとにかく好きで、キンジが他の女と一緒に居ることが気に入らず、キンジに近づく女を排除するために凶暴化する。（ヤンデレ）

その暴走具合はとんでもなく、下手をすれば白雪より質が悪い。

使用武器：単分子振動刀<ソニック>

磁気推進織楯<Pファイバー>

e t c.

遠山金三

原作：緋弾のアリア

キンジの遺伝子上の弟。

かなめと同じく、H S Sの遺伝子が組み込まれており、発動のトリガーは通常の性的興奮ではなく、自分が美しいと思った芸術品や美術品等での興奮である。

彼の本名はジーソードだが、金三という名はキンジの祖母にチーソードと呼ばれてしまい、キンジの祖父が呼びやすいように着けた名前前で、本人は気に入っていない。

左腕が義手。

戦闘時は銃はあまり使わず、徒手格闘で戦う。

キンジが使う技を使うことが出来る（技名は自分で着けた名前）

使用武器：H & K, USPマツチモデル×1

ファイティングナイフ×1

アンカー付き義手×1

使用武器一部紹介

雪霞狼

正式名称は七式突撃降魔機槍シュネーヴアルツァー。

雪菜が古城監視任務に就く際に、獅子王機関から渡された武器。

神経振動波駆動術式と呼ばれる魔力を無効化する術式が組み込まれた七式突撃降魔機槍の一つ。

対魔族用の術式が組み込まれており、特に吸血鬼戦に真価を発揮する。

S & W M 1 0ビクトリーモデル改

S & W M 1 0ビクトリーモデルを対魔族弾を撃てるように改造したもの。さらに発射時の反動を少なくし使いやすいようにした。

使用弾薬は・ 38スペシャル弾、対魔族弾
装填数6発　ダブルアクション
クランが改造

サイガ12改

サイガ12を対魔族用散弾を撃てるように改造したもの。
重量と発射時の反動を軽くし、使いやすいうようにした。

SVD（ドラグノフ）のスコープを装着している。

使用弾薬は12ゲージ、対魔族用散弾

装填数5／8発

ボックスマガジンタイプセミオート式散弾銃

クランが改造

古城使用武器

VZ85KC

壊れたVZ68KCの代わりに新しく買ったVZ85を改造したもの。

KCは古城カスタムの略。

ストックを取り外し可能にし、レーザーポインターを装着。

さらに発射時の反動を特殊なパーツで少なくした。

その反動はとても小さく片手で撃てるほど。

最大の特長は古城の魔力を専用のマガジンに充電することで魔力のビームを発射できることで、単発で撃つと貫通力のある強力なビームを、フルオートで撃つと単発よりは威力は小さいが強力な弾幕を張ることができる。

しかし、弱点が3つあり、1つ目は使いすぎるとオーバーヒートし、クールダウンするまで使えなくなる事。

2つ目は、専用マガジンはビームしか撃てないので、実弾での射撃をする場合は通常のマガジンと入れ換える必要がある。

3つ目は単発のビームは威力が高いため基本的に魔族、魔獣の相手か、無人機の兵器が相手の時ぐらいしか使えないこと。

通常射撃は9mm×19パラベラム弾と対魔族弾、平賀文特製弾での射撃が可能

使用弾薬は通常射撃は9mm×19パラベラム弾、対魔族弾、平賀文特製弾。 装填数30発

魔力ビームは単発ビームが5発、弾幕ビームは100発
クランが改造。

おまけ

二年A組フリートークコーナー

銀八：「という訳でフリートークのコーナーだ。お前ら何か話せ。」

新八：「いや、話せて言われてもいきなり話せるわけじゃないですよ。」

キンジ：「てか、何でフリートーク？」

銀八：「だって今回キャラ説明はたった三人だぞ。これだけで終わったら読んでる読者の人はつままないと思うし。」

アリア：「そもそもこの設定集見てる人っているのかしら？」

それは置いといて

銀八：「今回の話題はこれ。読者の皆さんは電撃文庫ファイティン
グクライマックスというゲームを知ってるか？」

千冬：「このゲームは電撃文庫の小説のキャラクターで対戦する格
闘ゲームなのだが、そのバトルキャラとサポートキャラを見て作者は
なんで？って思ったんだ。なぜだか分かるか？」

銀八：「暁、お前なら分かるだろ。答えてみる。」

古城：「はい!!それはバトルキャラとサポートキャラが逆だと思
う所です!!」↑電撃文庫FC参戦キャラ（サポート）

（※注：個人的な意見です。→←）

銀八：「そう。例えば、とある魔術の禁書目録の主人公の上条君は主
人公キャラなのに何でかサポートキャラでビリビリ中学生こと美坂

がバトルキャラなんだよ。多分上条君はこう思ってるだろう。『ビリビリにバトルキャラの席盗られた!?不幸だあああ!!!』ってな。」

キンジ：「なんか言ってるそうだな。」

銀八：「あと古城、お前なんか言いたいことがあるだろう? いいぞここで言ってる。」

古城：「じゃあ、言わせてもらいます。… 姫終!!何でてめえがプレイヤーキャラなんだアアア!!?? (怒)」

→電撃文庫FC参戦キャラ (サポート)

雪菜：「し、知りませんよ!」↑電撃文庫FC参戦キャラ (プレイヤーキャラ)

銀八：「まあお前いろいろチートだからな。それを考慮してサポートにしたんだろう。」

古城：「う。。」↑自覚アリ

銀八：「うん? 作者がなんかカンペ出してる。なにになに。」

BD (カンペ)：「今回クロス高校のレギュラーメンバーでファイティングクライマックスのバトルキャラとサポートキャラの設定を考えてみました。一部この小説に現在登場していないキャラも出ますもしかしたら出るかも?。」←

バトルキャラ

暁古城

近距離戦闘が得意で中距離の戦闘もある程度使える。

基本的に素手で戦い、中距離の相手には魔力の電撃で攻撃する。

切り札

九番目の券獣 “双角の深緋” (アルナスル・ミニウム) での吹き飛ばし攻撃。

クライマックスアーツ (必殺技)

その一

五番目の券獣 “獅子の黄金” (レグルス・アウルム)

古城が最初に使えるようになった雷の魔力の身体を持つ券獣。強力な電撃で攻撃したあと突撃する。

その二

サポート煌坂紗矢華選択時使用可能

呪術矢十九番目の券獣「双角の深緋」(アルナスル・ミニウム)

紗矢華の鳴り鏑矢による呪術で敵の動きを封じたあと至近距離でアルナスル・ミニウムの高周波振動攻撃で、ダメージを与える。

その三

パートナーその他選択時使用可能

3番目の券獣「龍蛇の水銀」(アル・メイサ・メルクーリ)

次元喰いの力を持った二体で一对の双頭龍。双頭龍の顎に喰われた空間自体を消滅させる。リーチが短いので至近距離でしか使えない。

戦闘開始時セリフ

「ここから先は第四真祖(オレ)の戦争(ケンカ)だ!!」

遠山キンジ

近距離と中距離戦闘が得意。

戦闘時はベレッタ・キンジモデル、ナイフ、素手で戦い、基本的にナイフと素手で戦う。

銃の使用はコンボのシメや中距離攻撃で使う。

切り札

ヒステリアモード発動

性的興奮が発動するためのトリガーだがここでは性的興奮無しで発動する。

一定時間攻撃の手数が増え、コンボのシメと中距離攻撃がデザートイーグルになる。

また、バスカービルと遠山金三以外のパートナーでこのモードになった時はクライマックスアーツの1つ8倍桜花を使えるようになる。

極たまに通常のヒステリアモードよりも発動時間と手数が少なくなる変わりに攻撃力が上がるヒステリア・ベルセになることがある。

クライマックスアーツ(必殺技)

その一

桜花

ヒステリアモードを発動し、体の各部位を連動して加速させることでマツハ1の攻撃を相手に叩き込む。

その二

パートナーチームバスカービル選択時使用可能

バスカービル総攻撃

キンジがリーダーを務めるチームバスカービルのメンバーと一緒に攻撃。

アリアの双剣双銃↓レキの狙撃↓理子の爆弾攻撃↓白雪の緋緋星伽神↓キンジの桜花の順番に攻撃する。

その三

パートナー遠山金三選択時使用可能

桜星（おうせい）

金三と一緒に攻撃したあと金三の流星「メテオ」（金三版の桜花）で体押し出し、その勢いを桜花に上乘せして相手を殴る人間砲弾技。マツハ2の速さで放つ攻撃は凄まじい威力を持つ。

その四

パートナーその他使用時+ヒステリアモード発動時使用可能

8倍桜花

全身の筋骨を連動することでマツハ8の速度を出す技。秋水という技と併用しなければ、空気の摩擦で腕が燃え上がる可能性がある危険な技。

戦闘開始時セリフ

「東京武偵校探偵科Eランク遠山キンジ…これより戦闘を開始する!!」

織斑一夏

近距離戦闘が得意。

初めから白式を展開したら勝負にならないので、ここでは部分展開で腕部と雪片二型を展開する。

攻撃力は低めに設定しているが、攻撃速度が早く、コンボ数は多い。

切り札

白式展開

一夏の専用機白式を展開。

攻撃力、攻撃速度、コンボ数、防御力が一定時間大幅にアップする。但し発動時間は短い。

クライマックスアーツ（必殺技）

その一

白式高速連続攻撃

白式の機動力を生かして、雪片二型で連続攻撃。攻撃開始速度がとても早いため、避けにくい。

その二

パートナーシヤルロット・デユノア選択時使用可能

コンビネーションアタック

白式を展開した一夏とラファールを展開したシヤルと一緒に連続攻撃。シメはパイルバンカーと雪片二型で同時攻撃。攻撃開始速度が遅いため避けられることがあるが、ヒットすると大ダメージを与えることができる。

その三

パートナーその他選択時使用可能

零落白夜

白式の単一仕様能力、零落白夜を発動。

雪片二型が変形し、エネルギーでできた刃で攻撃。

原作ではシールドエネルギーを消費して起動するため、使いすぎると自滅するが、ここでは消費エネルギーは無しになっている。

威力が高いため、コンボ数は少なめに設定されている。

戦闘開始時セリフ

「織斑一夏、白式行きます!!」

パートナーキャラ

煌坂紗矢華

六式重装降魔弓煌華麟（こうかりん）で攻撃。

ガード無効攻撃の剣形態、鳴り鏑矢を敵に撃つ弓形態の二種類がある。

チームバスカール

バスカールビルメンバーが攻撃。誰が出るかはランダムで決まる。
(一回使うたびにキャラが変わる。)

神崎・H・アリアⅡホバースカートで上から強襲。

星伽白雪Ⅱ炎を纏った色金殺女(イロカネアヤメ)で攻撃。

峰理子Ⅱ相手のクライマックスゲージ(必殺ゲージ)を奪う。量はランダム。

レキードラグノフで狙撃。たまにバレットM82を撃つことがある。

遠山金三

徒手格闘で戦う。

威力の高い「流星」、手数が多い連続攻撃でサポートする。

シャルロット・デュノア

ラファール・リヴァイBC2を展開。

マシンガンで敵を撃つ、パイルバンカーのシールドピアースで攻撃する。パイルバンカーは威力が高い。

以上

BD:「なお、これは作者が勝手に考えた物で、本家にはでてきません。これで今回のクロス高校の日常設定集とおまけを終わります。今回も閲覧ありがとうございます。」

完

本編開始

第一話：放課後と高校生

第一話

放課後と高校生

キンジ：「なーお前ら今回の小テストの間8なにいったー?」

古城：「俺は3だな。一夏はどうしたんだ?」

一夏：「俺も3だな。ただこれちよつと難しくなかった? 宗介は何
いったんだ?」

宗介：「俺は適当に2にいった。今回の小テストは俺の苦手科目だ
からな。」

新八：「つて何で僕の部屋でテストの答え合わせしてんだよ!」

キンジ：「あれオメー忘れたの? 昼休み飯食つてるとき話したじゃ
ねーか。今日の放課後今回の小テストの答え合わせしようぜつて
言っただじゃねーか。」

新八：「いやそうだけど、何で僕の部屋? 他に良いところあるだろ! 例
えば喫茶店とか!」

古城：「いや、俺たちもさ、喫茶店でやろうと思ったよ?」

新八：「じゃあ何で?」

一夏：「マスターが風邪引いたからしばらく店休むつてメールで
いってたんだよ」

新八：「あー、じゃあしょうがないな。」

キンジ：「よし終わったな。じゃあ帰るか。お疲れ〜。」

キンジは部屋を出ようとドアに手をかけた。ちよつどその時、新八
のルームメートの一人が帰ってきた。

武藤：「ただいま。あー疲れた〜。」

新八：「お疲れ〜。」

武藤：「おう、お疲れ〜。でお前ら何やってたんだ?」

キンジ：「今日やった小テストの答え合わせだよ。もう終わったけ
ど。」

武藤：「なあ、いきなりだけどよ、お前らスカートについてどう思ってる？」

古城：「そりゃオメーあり得ねえだろう。」

新八：「いや、なんで議論やってんだよ!! 帰るんじゃないかよ!!」

武藤：「俺の意見だが、あれ服って言うていいのか？あれ布切れ履いてるのと同じじゃねーか？」

宗介：「よくわからんが、あんなもの戦闘に不向きだ。」

古城：「あれ風吹いたらいろいろアウトだろ。それに俺の体質上いろいろ困るんだよ。」

キンジ：「そうだよなー俺も体質でスカート中見えたら困るんだ。何で女子はあんなもん履いてるんだ？」

新八：「お前らの体質なんて知るか!! さっさと帰れっていつてんだろうが!!」

宗介：「なあ、誰かスカート調達出来ないか？」

一夏：「いや、出来るわ「持ってきたぞ！」（武藤） っておい!!」

武藤：「そして!! これだ！」

武藤は胸の近くで両手を合わせた。（鋼の錬金術師の錬成シーンをイメージ）そして、手をそつと戻すと・・・女物のパンツが武藤の手から現れた！

宗介：「錬成しただと!!」

新八：「それ僕の姉のパンツじゃねーか!!」

武藤：「安心しろ。等価交換だ。姉の部屋には俺のパンツを置いてきた。」

一夏：「お前本当に馬鹿だな!! 後ろ見てみる!!」

武藤：「え・・・」

武藤の後ろには・・・

古城：「おい!! それ風沙（古城の妹）のスカートだぞ!! どこから持ってきた!!」

キンジ：「何でお前がかなめ（キンジの妹）のスカート持ってた!! 表出る!! ぶつ殺してやるからよ!!」

シスコン二人が鬼の形相で武藤を睨んでいた。

古城＋キンジ：「誰がシスコンだ!!」

一夏：「いや、誰に言ってるの!？」

古城＋キンジ：「作者にだよ!!」

一夏：「オイイイ!!それいったらダメな台詞だぞ!!」

武藤：「お、落ち着け、話せば分かる!!だからちよつと待….<ズ
ガンツ×!!2>つてうお!!」

武藤は二人を落ち着かせようとしたが、キンジはベレッタ・キンジ
モデル、古城はVZ68スコープオンKCで武藤に一発ずつ撃った。
しかし、武藤はギリギリで避けた。

武藤：「わ、悪かった!!謝るからベレッタとスコープオンはやめてく
れ!!」

新八：「やめろ、お前ら!!とりあえず銃降ろせ!!」

武藤：「新八ありがとう助かつ」銃撃つなら外でやれ!!ここで撃つな
!!あと、僕も混ぜろ!!」(新八)つておい!!、嘘だろ!？」

古城＋キンジ「了解!!」ガシツ×2

武藤：「た、助けてくれえええ!!」ズルズル… ↑寮の外へ強制連
行する音。

古城＋キンジ＋新八「さあお前の罪を数えろ!!」

武藤：「ギイヤヤヤヤヤヤ!!」

この日、クロス高校の寮の近くで武藤の悲鳴が響いた…

ちなみにスカートとパンツは事情を説明して妹と姉に返した。そ
の数日後、被害者三人は武藤をボコボコにした。

放課後と高校生完

オマケ

今回使用したキンジと古城の銃についての説明

キンジ使用銃

ベレッタ・キンジモデル

キンジの愛銃。ベレッタM92FSを違法改造して三点バースト、
フルオートができるようにした銃。

違法改造したのはいいが三点バーストで撃つとき、2発ほぼ同時に

出るようになった。

平賀文が改造。使用する弾は9mm弾。装弾数は15発。

古城使用銃

VZ68スコープオンKC

VZ68スコープオンを古城仕様にカスタマイズした銃。KCは、

古城カスタムの略。

スコープオンは射撃時の反動が少ないため、狙いをつけやすい。

通常の9mm弾の他にも対魔族用の弾や平賀文が作った特殊な弾を撃つことができる。平賀文が改造。

装弾数は30発

第二話：テスト勉強は真面目にやれ

第二話

テスト勉強は真面目にやれ（日常パート）

テスト・・・それは、全学生にとつて天敵である存在。学生はテストが大の苦手である。その理由はテスト前は勉強を絶対にしないといけないからである。そして、もしテストの結果が悪かった場合補習を受けないといけないし、下手をすれば、留年する可能性があるのだ。そして学生の天敵であるテストがクロス高校にやって来る・・・

HR 前校長室

朝の職員会議が終わったあと、銀八と千冬、那月は校長室に呼ばれていた。

ハタ校長：「さて、今日ここに来てもらったのはほかでもない、2―Aのことだ。」

銀八：「校長、2―Aはなんも悪い事はしてない筈ですが。なんかやらかしたんですか？」

那月：「いや、それはないと思うぞ。」

千冬：「そうだな、もしなんかあったら真つ先に私達に話に来るはずだ」

三人はスマブラ3DSを校長室のソファ―に座ってやっている。

ハタ校長：「いや、それ話聞く態度じゃないよね？てか、何でスマブラやってんの？」

校長は静かに怒る。

ハタ校長：「とにかく、三人とも早くこつちに来なさい。」

三人はスマブラをやめ、校長の前にくる。

ハタ校長：「織斑先生と那月先生のいうとおり問題を起こしたという事ではない。2―Aのテストの成績についてのことだ。テストの成績がいい生徒と悪い生徒のアップダウンが激しいのだよ。」

銀八「じゃあ、どうしろって言うんですか？」

ハタ校長：「もうすぐ学力診断テスト（国語、数学、英語、歴史、科学 or 生物）があるのは知ってるね？まず生徒達は今回の学力診断テ

ストで赤点の数が3つ以上取ると放課後補習を受けてもらう。そして、君たち三人の給料を20%カットだ!!」

三人「20%カットだと!!」

ブチツ!!三人は怒りに任せてハタ校長の触手を引きちぎる。

(#ハタ校長のおでこの部分に一本生えている。)

触手を引きちぎられた場所から鮮血が吹き出しハタ校長の頭を赤く染める。

ハタ校長：「イデデデ!!なぜちぎる!!」

銀八：「ふぎけないでくださいよ。何であいつらのせいで俺たちの給料20%カットされなきゃいけないんですか?」

ハタ校長：「仕方ないだろう。そうでもしないと他の生徒のお荷物になってしまう。とにかく、これは決定事項だ。」

銀八：「分かりましたよ、あいつらのテストで赤点3つ以上で補習で俺たちは給料10%カットですね。」

ハタ校長：「何でさりげなく自分たちのペナルティーを下げるの?まあいいけど。じゃあまとめるぞ2-Aは赤点3つ以上で補習、君たち三人は10%カットそれでいいね。」

那月：「いいですよそれで。」

千冬：「私もそれいいです。」

HR

銀八：「というわけで、次の試験で、赤点3つ以上で補習だ。以上。」

新八：「いやいやちよつと待て!!」

男鹿：「ふぎけんなよ!何で先生達だけペナルティー下げてんだよ!!」

千冬：「それはこっちのセリフだ。」

那月：「そうだ。お前らせいで給料下がるかもしれないんだぞ。」

銀八：「とにかく、今日の放課後テスト対策の会議をする。」

放課後

銀八：「よーしお前ら、今からテスト対策の会議始めるぞ。何かいい案ないか?」

新八：「先生。赤点3つ以上取ったら駄目なんですよね?」

銀八：「そうだ。どんな手を使っても赤点を3つ以上取らないようにすればいい。」

新八：「例えば?」

銀八：「カンニングだ。」

孝太郎：「いや、やらせんなよ!!」

アリア：「何で教師が生徒にカンニングやらせようとしてるのよ!!」

銀八：「そうでもしなきゃ無理だろう。」

理子：「もう少し生徒を信用しようよ銀ちゃん!!」

銀八：「わかったじゃあカンニングはなしだ!明日から勉強会だ!!
いいな!!」

翌日放課後テスト対策勉強会1日目

勉強できる生徒はちゃんと真面目にやっているが、できない生徒はボケに逃げていた。こんな感じで…

理子：「A, アップル。B, ブック、C, キャット…」

千冬：「何で小学生レベルの英語をやってるんだ!!!峰!!!高校英語をやれ!!!」

沖田：「えーと…マイクはナンシーの体を荒縄で縛りつけたあと、革のムチを持って…」

銀八：「そんな英文あるわけねえだろ沖田ツ!!!あとなんかムカつくだよ!!!キンジ!!!新八!!!」

銀八は二人の背中に竹刀を振るう。

新八：「イデデデ!!!ちよつと!!!八つ当たりはやめてくださいよ!!!」

キンジ：「そうですね!!!俺たちは真面目にやってたでしょ!!!」

白雪：「キンちゃんに八つ当たりするなツ!!!」ズガガガツ!!!

銀八：「うおおお!!」

白雪は銀八に向けてM60を撃つ。

(#白雪はキンジ関係で怒るとマジで怖い。)

とまあこんな感じで最初はボケに逃げていた生徒達だがだんだんボケが少なくなり真面目に勉強をやっている。ところが…

放課後テスト対策勉強会三日目

2—Aの一部生徒が早くもレッドゾーンに突入しようとしていた。

目の下にこいくま、なんていうのはまだましな方で沖田は咯血し、理子は幻聴をきき、アリアはいつものツインテールをポニーテールに変えるという奇行に走るといふ始末である。

銀八：「不味いな、このままじゃテストの前に倒れてしまう。仕方ない、あいつに頼むか…。」

銀八は携帯電話である人物に電話をかけた。

銀八：「もしもし、俺だ、ああそうだ頼むぞ。」

その時、キンジはあることにきずいた。

キンジ：「そういえば、レキは今どこにいるんだ？」

アリア：「言われてみれば、確かに。どこいったのかしら？」↑まだポニーテールの状態

その時だった。気絶している山崎がどこからか狙撃された。（弾はゴムスタンだった。）

山崎：「ギイヤヤヤヤヤ!!」

しかも頭に直撃した。あまりの痛さに山崎は起き上がる。

ラウラ：「そ、狙撃!」

シャル：「一体どこから!」

いきなりの狙撃に辺りを警戒する2-Aの生徒達。

キンジ：「ま、まさか!」

孝太郎：「どうした、キンジ!」

古城：「何かあったのか!」

キンジ：「俺の予想が間違っただけじゃあ!」

キンジはとある番号に電話する。電話はワンコールで繋がった。

レキ：「もしもし、キンジさんですか？」

キンジ：「レキ!!今何してる!?!まさかとは思いますが今山崎狙撃しなかつたか!?!」

レキ「はい。狙撃しました。銀八先生からの依頼で。」

キンジ：「やっぱりおまえかあああ!!!」

キンジはシャウトした。

レキは狙撃課のSランク武偵でキリングレンジ（絶対に当たる距離）2051mという凄腕のスナイパーだ。

ちなみにレキはA組の生徒だが2―Aのテストの成績がトップクラスなので勉強会は免除された。

銀八：「さあお前ら、気張れよ!!!狙撃されなくなったら死ぬ気でやれよ!!!」

A組生徒：「ヒイヒイヒイ!!!」

見えない狙撃の恐怖から逃げるため、生徒達は死にもの狂いで勉強した。

数日後の学力診断テストでA組は全クラスでトップの成績を納めた。

第三話：飛び級生と留学生には気を付けろ（日常パート）

第三話

飛び級生と留学生には気を付けろ（日常パート）

クロス高校には今年から中等部が新しく追加された。

そこでクロス高校は中等部の生徒でも優秀な成績だった場合、飛び級する事ができるようになった。

その他にもクロス高校は留学生も受け付けるようになったのである。ただし留学生はIS課（整備課含む）と武偵課しか入れない。

そして、今日、飛び級生と留学生が2―Aに来るのであった。

S H R 前2―A教室

孝太郎：「あれ？なんか机が増えてないか？」

ルース：「親方様、今日は飛び級生と留学生が来る日ですよ。」

（#孝太郎とはあるチームのリーダーをしているためこう呼ばれている。ちなみにルースは副リーダーである。）

キリハ：「ああ、そういえばそうだな。」

ティア：「しかし、どんなやつが来るのじゃ？」

その時朝のS H R開始のチャイムがなったので全員自分の席に戻る。

S H R 開始

銀八：「おーし、日直号令。」

一夏：「きりーつ、れい。着席。」

銀八：「えー、今日は飛び級生と留学生が来る日だ。じゃあ、飛び級生と留学生を紹介する。入っ正しいぞー。」

×3 「はい。」

「飛び級生と留学生が教室に入ってきた。

キンジ+古城+浅葱+バスカービル（#キンジがリーダーで、アリアが副リーダーをしているチーム。）関係者

「ブッ!!?」

キンジ達は吹き出した。それもそのはず、飛び級生と留学生は自分達のよく知る人物だったからである。

金三：「今日からこの学校で世話になる遠山金三だ。よろしく頼む。」

かなめ：「今日からこのクラスに入ることになった遠山かなめです。お兄ちゃんに手を出す悪い女は殺します。よろしくお願いします。」

雪菜：「今日からこのクラスの一員となりました姫終（ひめらぎ）雪菜です。よろしくお願いします。」

約一名トンデモ発言をしているがかなめはこれが普通である。（ヤンデレ）

キンジ＋古城＋浅葱＋バスカービル：「嘘だろ（でしょ）!!」

キンジ：「何でお前ら、ここにいるんだよ!」

かなめ：「いやーこの学校の学力低いから飛び級しようかな〜と思って。それにお兄ちゃんとずっと一緒に居たいから。」

金三：「兄貴、俺は部下がたまにはゆっくり休めって言われてせっかくだから学校行こうと思っただよ。」

バスカービル関係者：「そんな理由!?!」

古城：「で、姫終は何でここにいるんだよ?」

雪菜：「獅子王機関からの命令です。飛び級できるなら飛び級して先輩を監視しろと。」

浅葱：「あー姫終さんなら普通に飛び級できるわね。」

（#雪菜は高校卒業程度の学力を持っている）

銀八：「よーし、じゃあお前ら、仲良くしろよ。HRは終わりだ。日直号令。」

一夏「きりーっ、れい。」

こうして朝のSHRは終わった。銀八はみんな仲良くしろと言ったが早くも問題を起こす

昼休み弁当タイム

かなめ：「おにいちゃん、一緒にご飯食べよう♪」

かなめはキンジの腕に抱きつき胸をあてる。（わざと）

キンジ：「ちよ!!かなめやめ。（ズガンツ×4）ってうおお!!」

アリアはコルト・カバメントを2丁拳銃で、白雪はM60、レキはドラグノフ狙撃銃でキンジに抱き付いているかなめを撃つ。かなめに抱きつかれているキンジが巻き込まれる。

アリア：「キーンジーあんだナニヤツテンノ？」

白雪：「かなめ…妹だからって引つ付きすぎだよ…殺されたいの？」

レキ：「……………」↑無表情（怒っている）

理子：「おー、修羅場だ〜♪」↑楽しんでる

バスカービルのメンバー（理子除く）はかなめが逃げないように囲む。

（キンジはかなめに抱き付かれているため逃げようとしても逃げられない）

キンジ：「落ち着けお前ら!!てか何で悪くないのに俺撃たれたんだ!?!しかも何か巻き込まれてるし!!」

アリア：「うるさい!!!早く死ね!!!」

キンジ：「理不尽!」

かなめ：「うるさいなー、妹がお兄ちゃんと一緒にごはん食べるのは当たり前だよ〜♪あと、オニイチャンニテヲダスワルイオンナハコロス。」

かなめは自分の愛用している単分子振動刀《ソニック》を何処からか取り出す。

白雪：「フフフ…殺れるもんならやってみなさい…何ならあの時のリベンジでもいいんだよ?」

白雪はM60を床に置き日本刀色金殺女《イロカネアヤメ》を鞘から抜く。

キンジ：「いやいやちよつと待て!!落ち着けてお前ら!!またランバージャックやるつもりか!?!」

（※分かる人は飛ばしてください←）

ランバージャックは武偵高「今はクロス高校」名物の最もハードな決闘方法の一つで元はアメリカの木こり達がやっていた決闘方法をアレンジしたもの。

ルールは簡単で防弾装備した武偵達が点々と円を描くように立つたものをリングといいこのリングで決闘者達を取り囲み逃げ場を与えず戦わせる。

片方が敗北を認めるか動けなくなったら終了というのが基本ルール。

ランバージャックは決闘者がリングの外側に出ようとしたとき、リングは外側に出ようとした決闘者に攻撃してもOKであり（銃で攻撃するのもOK）、リングに攻撃されて中央に押し戻されるとまた敵に攻撃される。

これの繰り返ししている間にどんどんダメージを受け、瀕死の重傷を負うまで続ける。

ランバージャックのリングは中立でなくていいのでリングにも敵がいる。

つまり人望がないと、集中攻撃を受けることになる。

このルールによりランバージャックは粛清や報復に使われることが多い。

ランバージャックはカメララトという一回だけ手助けしてもいい助っ人がおり、通常は決闘が膠着した場合横槍を入れたり、もう勝敗が明らかかな状態で過剰攻撃を阻止して敗北を認めるといった役目がある。

ランバージャックは校則違反であり、もしばれると罰則である。

（※ランバージャックは危険なためと下手をすると重傷を負う可能性があるため）

ちなみにキンジは武藤と一度だけランバージャックで戦ったことがある。（※勝敗は不明）

かなめとキンジ除くバスカービルメンバー（4名のうち3名がリングとして参加残りの1名は白雪で決闘者として参加）とカメララト1名の合計5名、対するかなめチームは自分とカメララトのキンジの僅か2名である。

結果は白雪チームの勝利で終わった。（説明完）

白雪：「大丈夫だよキンちゃん。ランバージャックはしないよ。」

白雪は黒い笑みを見せながらキンジに言う。

キンジ「その手に持った刀は何だ!! 明らかするつもりだろうが!!

(ヤバイ、白雪が黒雪化し始めている……)」

(※黒雪化……キンジ関係で白雪が暴走すること)

白雪(黒)「大丈夫だよキンちゃん。その女を殺すだけだから!!」

白雪はかなめを殺すためにイロカネアヤメでかなめを攻撃した!!
しかしかなめはソニックで白雪の攻撃を防ぐ。

かなめ「いきなり攻撃するなんてひどいね〜これでコロ……正
当防衛できるね〜」

かなめはソニックで白雪の首を狙って攻撃したが白雪はそれを避
ける。それと同時にバスカービルメンバーが攻撃を開始した!!

キンジ「ちよ、ちよつと待て!! まだ俺g… ギイヤヤヤヤヤヤ
!!!!??」

キンジはかなめの近くにいたので巻き込まれてしまった。

雪菜「先輩あれほつといて大丈夫なんですか?」

古城「いつものことだ、気にするな。ところでお前何食ってんだ
?」

古城は雪菜が持っているパンを見て聞いた。

雪菜「これですか? クロス高校一週間に一度の100個限定ネコ
マタンパンです。ちなみにお値段一個千円です。」

古城「いやいや高すぎだろそのパン!! てか、聞いたことねーよそん
なもん!!」

雪菜「最近できたパンらしくて前に何回か食べたことがあるんで
すが美味しいですよ♪ さて、食べまくズガンツ!! >あ… ネ、ネコマ
タンパンがボロボロに……」

雪菜はネコマタンパンを食べようとしたがパンに銃弾が直撃した。
当然ながらパンはボロボロになってしまう。

雪菜「ダレデスカワタシノイツシユウカンニイチドノタノシミヲ
ウバツタヒトハ……」

浅葱「姫終さん!? キャラ変わってるわよ!?!」

雪菜の視線の先には、戦闘中のバスカービルメンバーとかかなめがい

た。

雪菜：「ソウデスカ、アナタタチノシワザデスカ…。」

雪菜はギターケースから七式降魔機槍・雪霞狼を取りだし、バスカールビルメンバーとかなめに襲い掛かった!!バスカールビルメンバーとかなめは慌てて避ける。

アリア：「ち、ちよつと何するのよ!？」

雪菜：「あなたたちが暴れているからわたしの一週間に1度の楽しみが無くなったんですよ…。」 しかも最後の一個だったんですよ…。」 だから死んでください!!」

雪菜は古城のVZ68KCで容赦無く攻撃する。

古城：「ってそれ俺のスコープオンじゃねーか!!ていうかいつの間
に!?!<ズガガガガンツ!!>ってギヤアアアアアアアアアアアアアアアア
!!!!?」

今度は白雪がM60で雪菜を攻撃する。

雪菜は慌てて避けるがそのせいで近くにいた古城に攻撃が集中する。

それと同時にキンジ除く(※気絶中)バスカールビルメンバーとかなめが攻撃を開始する。

雪菜は攻撃を回避するがそのせいで全く関係のないA組メンバーに被害が出る。

一夏：「うおお!!俺の提出物が!？」

新八：「昨日買ったばかりのお通ちゃんの新曲のCDが!？」

土方：「俺のマヨネーズが!!!チクシヨウ、こんなじゃ全然足りねーよ!!!」

ラウラ：「嫁の盗撮写真が!!手に入れるの大変だったんだぞ!!どうしてくれるんだ!!」

約一名犯罪を犯しているいるが、クロス高校はこれぐらいは黙認している。

被害者は怒りで戦闘に参加。被害がどんどんひどくなる。もう止めることができないと思ったその時だった。

ベル坊：「ヒグ… エグ…」

男鹿：「し、しまった!!ベル坊、な、泣くな!!男だr」

ベル坊：「ビィエエエエエエエンジンンン！！！！」

バリバリバリバリツ！！！！

バスカービル+かなめ+姫終+被害者+男鹿：「ああああああああああ！！！！」

2—A被害受けてないメンバー：「何で俺（私）達まで！！？ギイヤヤヤヤ！！！！」

（※ベル坊は泣くと電撃を放つ。

原作では男鹿がベル坊から15M離れるとベル坊が泣いて即死レベルの電撃を受けることになる。）

あまりの威力に2—Aメンバーは全員気絶した。

「ちようどその時昼休み終了のチャイムが鳴った。

銀八：「授業始めんで、席につk……ってうお!?何があつた!?!」

その後銀八は急いで衛生科を呼び、2—Aの生徒を病院に送った。

ちなみに、男鹿は慣れてるせいか、一時間ほどで復活し、他の生徒

は1〜2日ほど学校を休んだ。

（※命に別状はなかった。）

完

クロス高校の日常NG

クロス高校の日常NG集その1

(NはNGスタート)

(TはNG集のタイトル)

プロローグのオマケより

T：開けるな!!

シーン……

キンジ：「急に静かになったぞ……」

宗助：「大丈夫なのか……？」

ルース：「聞こえてはいけない音が聞こえたのですが……」

ティア：「孝太郎ちよつと様子を見に行つてくれ。」

孝太郎：「わ、わかった。」 キイク、ボタン!!

孝太郎は扉を開けて様子を見たがすぐに扉を閉めてしまう。

古城：「ど、どうだった？」

(N) 孝太郎：「お、俺は、な、何も見てな (キイク)…… え？」

孝太郎が何を見たのか答えようとしたときだった。急に扉があき、扉の外から謎の白い手が孝太郎の腕を掴んだ!! 白い手は孝太郎を教室の外に出そうと力強く引っ張る!!

孝太郎：「ちよ!! 何だこの手!? 握力と引っ張る力強すぎ!! つて誰か助k (ボタン!!)……」

謎の白い手は孝太郎を扉の外に引きづり出した。その数秒後、孝太郎と再び銀八の断末魔の叫びが廊下に響いた。

キリハ：「こ、孝太郎??」

一夏：「い、今の千冬姉の手!? いや、千冬姉の手はあんなに白くない!!」

古城：「じゃあ今の手は何だ!?!」

その数分後、再び扉があき、扉の外からボロボロになった二人が出てきた。(奇跡的に命に別状はなかった)

完

第二話より

T 何で丈夫なんだよ!?

ハタ校長：「まず生徒達には学力診断テストで赤点を3つ以上取ると放課後、補習を受けてもらう。そして、君たち三人は給料20%カットだ!!」

三人：「20%カットだと!!!」

(N) ギイ!!!³

三人は怒りに任せてハタ校長の触手を引きちぎろうとした。しかし、ハタ校長の触手は千切れなかった。

ハタ校長：「イデデデデデ!?!!なぜ引つ張る!!」

ギイ!!!³ ギイ!!!³ ギイ!!!³

ハタ校長：「イデデデデデ!?!!だからなぜ引つ張る!!なんか問○兎一卷の黒○サギみたいになってるよ!!」

三人：「何でそんなに丈夫だよ!?!」

バキツ!!!³

何回も引つ張るが千切れなかったので三人は逆ギレでハタ校長を思い切りぶん殴った!! (理不尽)

ハタ校長：「グハッ、な、なぜ殴る……」 ガクツ!!

あまりの威力にハタ校長は気絶してしまった。

そして後日、三人の給料は強制的に20%カットされることになった。

完

第二話より

T：誰がやったんだ!?

銀八：「もしもし、俺だ、ああそうだ頼むぞ。」

キンジ：「そういえば、レキは今どこにいるんだ?」

アリア：「言われてみれば、確かに。どこいったのかしら?」

その時だった。気絶していた山崎が何処からか狙撃された。(弾はゴムスタンだった)

山崎：「ギイヤヤヤヤヤ!!!?」

しかも頭に直撃した。余りの痛さに山崎は起き上がる。

ラウラ：「そ、狙撃!?!」

シヤル：「一体何処から!?!」

いきなりの狙撃に辺りを警戒する2-Aの生徒達。

キンジ：「ま、まさか!?!」

孝太郎：「どうした!?! キンジ!?!」

古城：「何かあったのか!?!」

キンジ：「俺の予想が間違っただけじゃなかったら!?!」

(N) キンジは携帯で電話する。そのときだった。いきなり教室の扉から

レキ：「すみません。遅れました。」

委員会の仕事で遅れてきたレキが入ってきた。

キンジ：「出てくるなー!?!」

孝太郎：「本編の流れ的に出てきちゃだめだよ!?!」

レキ：「NG集なんだから何やっても大丈夫でしょう?」

アリア：「いや、そうかもしれないけど!?!」

古城：「てか、レキじゃなかったら誰が狙撃したんだ!?!」

完

第三話より

T：大惨事

(注：説明文はカットします。)

白雪：「大丈夫だよキンちゃん。ランバージャックはしないよ。」

キンジ：「その手に持った刀は何だ!?! 明らかにするつもりだろうが

! (ヤバイ、白雪が黒雪化し始めている..)」

白雪(黒)：「大丈夫だよキンちゃん、その女殺すだけだから!?!」

(N) 白雪はかなめを殺すためにイロカネアヤメでかなめを攻撃する
!!

グサツ!!!

かなめ：「グハツ...」

ドサリツ!!

キンジ：「か、かなめー!?!」

白雪(黒)「……よし!!!」

アリア：「いや、よし、じゃないわよ!!」

理子：「何で普通に殺そうとしてんの!？」

白雪(黒)：「NG集だから何やってm」

理子：「言わせねーよ!! ってヤバイよキー君!!」

キンジ：「そうだ!! 誰か救護科呼んでくれ!!」

完

5月7日追加

第三話より

T：仕返し!?

(※前回のNG集であった大惨事のtake2です。前回と同じく説明はカットします。)

ハイジャアテイクツイーキマース。ヨーイハイ!!

白雪：「大丈夫だよキンちゃん。ランバージャックはしないよ。」

キンジ：「その手に持った刀はなんだ!! 明らかにするつもりだろうが!! (ヤバイ、白雪が黒雪化し始めている……)」

(N)白雪(黒)：「大丈夫その女殺「やられたらやり返す!! 倍返しだ!!!」(グサツ!!!) グハツ!!!」

白雪がかなめを攻撃する前にななめがナイフ(※キンジのナイフ)で攻撃する。かなめのナイフはカウンターで、白雪の腹部に突き刺さる。

かなめ：「よし!!!」

キンジ：「し、白雪イイイイ!? しっかりしろー!!!」

理子：「仕返し!?! てか、何で半〇直〇!?!」

アリア：「前のNG集で刺されたからってやり返したら駄目!!」

かなめ：「えー、いいじゃん。お兄ちゃんは私の物なんだから守るのは当然だよね? だから問題なし!!」

アリア：「だとしてもやり過ぎ!! ってそんな事より誰が早く衛生科呼んで!!」

(※命に別状はありませんでした)

完

キンジ：「ウワアアアア!!?か、かなめ!？」
布団からかなめが全裸で出てきた!!

アリア：「キンジ!!どうしたの!?!入るわよ!!」

キンジ：「ちよ、ちよつと待て!!」

Side 一夏の部屋

キンジが起きたほぼ同じタイミングで一夏は起きた。

一夏：「朝か... <ムニツ>「う...」... は... ?なんだ?今の?」
ゴソゴソ...」

一夏：「ま、まさか!!」

バサツ...

ラウラ：「ああ... おはよう、嫁...」

一夏：「ラウラ!!またお前かアアアア!!」

布団からラウラがまた全裸で出てきた!!

シャル：「一夏!!何があったの!?!入るよ!!」

一夏：「シャル!?!ちよつと待て...」

Side out

ガチャツ×2

ほぼ同じタイミングで二人は扉を開けた。

アリア：「つて何朝っばらから何やってんのよ!!」

シャル：「織斑君何やってんのかなく。」↑黒笑顔

(#シャルは一夏関係で怒ると名前じゃなく名字で呼ぶ。)

キンジ+一夏：「ご、誤解だ!!俺は何もやってない!!」

ここで問題。この状態になったアリアとシャルを止めることは出来る?

答え：無理!! (千冬は (物理的に) 止めることが可能)

さらに問題。アリアとシャルが次にする行動は?

答え：私刑、制裁、半殺しのどれか。

アリア：「死ね!!風穴地獄!!」

シャル：「地獄に落ちろ!!」

ズガガガガガガツツツ!!!4

→

!!!!

2 丁拳銃で攻撃×2

キンジ十一夏：「ギイヤヤヤヤヤ!!!」

完全に被害者の二人の悲鳴がクロス高校の寮に響いた。

Side 2 - A 教室

朝のSHR前の休み時間

キンジ：「ひ、ひどい目にあつた……」 ↑ボロボロ

一夏：「なあ、キンジ。俺達って被害者だよな？なんで俺達が半殺しにされてるんだ？」 ↑ボロボロ

孝太郎：「一応聞いとくけど、大丈夫か？」

キンジ：「大丈夫に見えるか？」

一夏：「なんで朝っぱらからグロックで攻撃されないといけないんだ……？」

古城：「とりあえず、何か対策考えないといろいろヤバイだろ」

金三：「兄貴、織斑、部下から対侵入者用のトラップがいくつか送られてきたんだがよかつたら使うか？」

キンジ：「対侵入者用のトラップ？」

金三：「ああ、何でも認証した人物以外がドアを触ると100万Vの電流が流れるってやつらしい。」

一夏：「おいおい、いくらなんでもやりすぎだろ……他のやつはないのか？」

一夏は他のトラップがないかと聞こうとしたときだった。

シャル：「何やってるの？」

アリア：「また変なこと企んでるんじゃないでしょうね。」

アリアとシャルがキンジ達のところに来た。

キンジ：「アリアとシャルか。今日みたいに不法侵入されないように対侵入者対策を考えていたんだ。」

古城：「なんか案思い付かないか？」

アリア：「じゃあドアの前にクレイモア仕掛けるっていうのはどう？」

一夏：「いや、それ死ぬから!!明らかに武偵法違反してるから!!」

(#クレイモア…地雷↑殺傷力抜群!!)

(#武偵は武偵法9条で殺人を禁止している)

シャル…じゃあ、センサーに反応したらシルード・ピアース喰らわせるていうのは?」

キンジ：「アウトだ!!お前から絶対不法侵入するやつ殺す気だろ!!」

(#シルード・ピアース「漢字で書く場合は盾殺し」

グレー・スケールの通称。

69口径のピルバンカーで、リボルバー式なので連続で攻撃することが可能。IS第2世代の武装で最高クラスの威力を持つ。人に当たったら確実に死ぬレベル!!)

アリア：「私の家は不法侵入する輩には容赦しないわよ。家の家訓に侵入者を見つけたらサーチ&デストロイですぐに殺せつてあるぐらいよ。」

古城…なあ、お前の家ってホームズ家だったよな?へ(ピー)シング家じゃないよな?」

雪菜：「何ですか、へ(ピー)シング家って…?」

謎の声：「とある漫画もしくはアニメのネタです。この漫画は吸血鬼が出ます。」

雪菜：「何ですか?今の声?」

孝太郎：「さあ…?」

それから数分間侵入者対策を考えていたが、結局いい案が思い付かなかった。

さらに数分後…

キンジ：「ダメだ!!いい案が思い付かねえ!!」

一夏…ど、どうするんだよ!!キンジ!?もうグロックで撃たれたくないぞ!!」

キンジ：「俺だつてガバで撃たれたくねーよ!!何かいい方法はないのか!」

(#ガバ…ガバメントの略)

孝太郎：「仕方ない、最終手段を使うぞ!!」

雪菜：「最終手段?」

キリハ：「ま、まさか！孝太郎！あれはやめるんだ!!」

孝太郎：「もうこれしか方法がない!! T・A・Sを使う!!」
ルース：「お、親方様!! それだけは使ってはなりません!!!」

ティア：「Tが!! Tが来るっつっ!!」

早苗：「孝太郎!! それだけはやめてっつ!!」

T・A・S、その言葉を聞いた2―Aは悲鳴をあげたり、

謎の踊りを踊ったり、謎の電波を受信するなどの普通ではあり得ない行動を取り出す!!!

金三：「ど、どうしたんだ!? てか、T・A・Sってなに!？」

キンジ：「T・A・Sは不法侵入者を鉄拳制裁する謎の人物

Tを呼ぶアルソツ（ピー）みたいなシステムだ!! Tの鉄拳制裁を受けた者は精神病院に約1週間、通常の病院に2週間は入院するほどの制裁を受ける!!」

雪菜：「何ですか!! その恐ろしいシステムは!？」

あと、Tって誰ですか!？」

Side out

Side 職員室

朝の小会議中

千冬「ハックシユンツ!!!」 ↑Tの正体

銀八：「どうした、風邪か?」

千冬：「誰かが噂してる?」

銀八：「噂って… 一体誰が?」

Side out

Side 2―A教室

一夏：「あと、これは噂なんだがTに鉄拳制裁を受けたやつは二度とこの学校に戻って来ないって言う噂がある!!」

金三：「どうなってんだこの学校!? 学校ってこんな危険な所じゃなかったよな!？」

ガラガラガラッ!!

千冬：「うるさいぞ!! バカ共!! 静かにしろ!!」
ズバババババンツ!!!

千冬はうるさい生徒に鉄拳制裁する。

この日の夜、また不法侵入したラウラとかなめはT・A・Sによって召喚されたTによって鉄拳制裁を喰らい、約2週間学校を休むことになった。

余談だがTの正体を知ろうとした2025室のメンバーだが、鉄拳制裁が終わったあとすぐに逃げれてしまう。

彼らは知らない・・・ Tは自分のクラスの副担任であることを・・・

第五話：練習は真面目にやらないと大怪我をする。

第五話

練習は真面目にやらないと大怪我をする。

Side：とある病室

松平：「…頼んだぞ…」

と病院のベッドで横になっている、クロス高校体育教師松平が隣にいるのに白衣の男に言う。病室に白衣の男がいるという事はその男は医者だと思っ読者がいると思う。しかし、その男は医者ではなかった。

銀八：「うーん…」

病室でもくわえタバコで、死んだ魚のような目をしたクロス高校2
—A担任坂田銀八である。

松平：「何がうーんだ、コラ。」

銀八：「いや、俺関係ないでしょ？」

松平：「仕方ないだろう… お前のクラスがやらかしたんだぞ…
もともと無理いって試合組んで貰ったんだ。今さらキャンセルなん
て無理だ。くズキツ!!>ウグツ!!と、とにかく頼んだぞ…」

翌日…

Side：2—A教室

銀八：「つー訳でお前ら二週間後、S高校野球部と練習試合な。以
上。」

新八：「ち、ちよつと待ってくださいよ!!」

言うだけ言つて教室から出ようとした銀八を新八は慌てて止める。

新八：「何で僕達がS高の野球部と練習試合しないといけないん
ですか!?!」

古城：「S高校つて強豪高だぞ!!絶対ボロクソにやられるぞ!!」

那月：「そうだぞ、銀八。何故A組がこんなことしないといけないん
だ?」

銀八：「分かれよ、上の文見て。」

一夏：「分かりませんよ!!てか上の文ってなに!?!」

千冬：「とにかく、ちゃんと説明しろ。銀八。」

銀八：「あー、実は…」

2—A：「実は？」

銀八：「ってゆるーか面倒だからBD（作者）に頼むわ。下の回想読んでくれ。」

ドツカラガツシャーッ!!↑椅子から落ちる音

新八：「そこはちゃんと説明しろよ!! アンタ小説何だと思ってんだアアアア!!」

しかし、新八のツツコミは意味がなく回想に入っていくのであつた…

回想スタート

クロス高校野球部は地元の高校野球部ではそれなりに強いと言われており、県大会では何回か優勝したことがあるくらいである。

当然、練習は厳しく辞める部員も何人かいた。

数日前、野球部顧問の松平はある高校に練習試合を申し込んだ。

（↑注：申し込みという名の脅迫）その高校が先ほど銀八の説明？にあつたS高校である。

S高校野球部は何回か甲子園に出場したことが有名であり、練習試合を申し込む高校が多く練習試合が組めない事が多い。

今回クロス高校が練習試合を組めたのは奇跡と言つてもいいぐらいである。

だが、ここで予想外出来事が発生する。S高校野球部との練習試合まであと二週間とちよつとの時である…

野球部キャプテン（以後野球部キ）：「よし!!お前ら!!あと二週間でS高校野球部と練習試合だ!!気合入れていくぞ!!」

野球部：「オオッ!!」

松平：「よし!!練習開始!!」

野球部が気合を入れ、練習を開始した時だった。何故かカブトムシが野球部が集まつてる所に飛んで来た。このカブトムシが悪夢の原因だった。

ルース：「日直の仕事が思ったより多かったですね…早く帰らな

いと… うん？あれ… は…」

その日、日直の仕事で帰るのが遅くなったルースは急いで寮に還ろうとした。その帰り道で野球部のが集まってる所にカブトムシが飛んでるのを見た。

ルース：「ふ、ふふふ、みいーっけーたー…」

ルースは何故か近くにあった鉄パイプ2本を片手に一本ずつ握り、振り回す。

ルース：「今度こそ息の根を止めてあげますよッ!!」

ヘラクレスちやややややんッ!!!」

ルースはカブトムシの息の根を止めるべく、ものすごいスピードで野球部の方へ突撃を開始!!

(#ルースはとあることが原因でカブトムシが大嫌いで、カブトムシもしくはカブトムシをイメージしたもの

(例：カブトムシをイメージした特撮物スーツやカブトムシ型ロボツト)

を見ると息の根を止めようとする。またカブトムシに味方する人物も容赦無く攻撃する。この状態のルースはマジで危険!! (強すぎるため)

野球部キ：「うん？な、何だあれは!？」

ルース：「邪魔ですッ!!」

バキッ!!!²

ルースは進路上にいた野球部キを容赦なく攻撃する。

野球部キ：「グアアアアアア!!!」

野球部A：「な、何だこの子は!？」

野球部B：「に、逃げるんだ!! (ブーン…) うわっ!？」

松平：「早く逃げる!!俺が足止めすr…」

ルース：「逃がすかアアアア!!!」

ドカンッ!!!バキッ!!!グシヤッ!!!²!!!

野球部+松平：「ギイヤヤヤヤ!!!」

松平が足止めしようとするがカブトムシデストロイヤー状態のルースには全く効果がなく、結局全員半殺しにされた。(全治三週間

の重症)

野球部、ルースによつて壊滅!!これは非常にマズイ事である。脅迫してまで練習を組んだので急にキャンセルなんて出来ないのである。ここで冒頭の病室での会話に繋がるといわけである。

こうなつたのはお前の組の組の生徒の責任だ。お前らで責任とつて試合に出ろ。
(松平 談)

回想終了

S i d e : 2 — A 教室

銀八：「てな訳だ。」

新八：「いや、待て待てッ!!」

銀八は言うだけ言つて教室から出ようとしたが新八が慌てて止める。

新八：「何で僕達がこんなことに駆り出されなくちやならないんですか!？」

銀八：「しやーないだろ。元はといやルースが野球部を病院送りにしたんだからよ。」

新八：「そこですよ、そこ!!ルースさん、幾らなんでもやりすぎですよ!？」

ルース：「す、すいません。その日のことは何も覚えてないんです。」

新八：「え……？どうゆうことですか？」

孝太郎：「ルースさんはカブトムシ関係で怒つてるときの記憶がないんだ……」

(#本当です。ちなみにルースがカブトムシを嫌いになった原因は孝太郎のせいである。)

キンジ：「何だよそれ……」

銀八：「と言うわけだ、とりあえずお前らは練習試合終わるまで臨時の野球部員だ。メンバーは勝手に決めた。今日から放課後グラウンドで練習だ。遅れるなよ。」

放課後……

S i d e : グラウンド

銀八：「おーし、揃ったな。じゃあ練習始めんぞー。」
今回銀八が野球部代理で選んだメンバーは
スタートメンバー（★はキャプテン）
ポジション（○）はサブポジション」

| | |
|------|-------|
| キンジ | 右十（二） |
| 一夏 | 一十（外） |
| 古城 | 投 |
| 幸太郎★ | 遊 |
| 宗介 | 左 |
| 金三 | 捕十（三） |
| かなめ | 三 |
| 雪菜 | 中 |
| ルース | 二 |
| 控え | |
| 新八 | 三 |
| 沖田 | 外 |
| 土方 | 投 |
| シヤル | 二 |
| アリア | 遊 |
| ラウラ | 一 |
| 理子 | 投 |

である。

新八：「あ、あの先生？何で女子も参加させてるんですか？」
銀八：「そりゃ、相手を油断させるためだよ。てか、今思ったんだけど約数名男子より強いやついるよね。」

（#アリア、かなめ、雪菜の事）

キンジ：「確かに：：」↑納得した

銀八：「んじや、とりあえず準備体操とストレッチしたら古今和歌集読みながらグラウンド十周な。」

金三：「何だよその練習?!野球関係ないだろ!?!」

というわけで練習が始まった。しかし、野球部の監督代理の銀八は野球をしてる人が見たら絶対に激怒する練習をする。

例えば内野のノック、一度にボールを三つ同時に打って全部とれと言う。

銀八：「オラオラ幸太郎、試合で飛んでくるボールは一球だけとは限らないぞー」

孝太郎：「限るから!!てか無理に決まってるだろ!!」

自分で打つ代わりにピッチングマシンで150kmの球を飛ばしたりする。しかも連続で(↑わざと)

古城：「うおおおおお!!」

銀八：「何避けてんだ、古城。メジャーの打球はこれぐらい早いんだぞー」

古城：「避けないと死ぬだろうが!!あとメジャー目指してないから!!プロになるんだったらバスケやるから!!」(↑元バスケ部)

やっと真面目にノックしたと思ったら何故か球じゃないものを打ったりする。

銀八：「オラー今の桃まんは取りやすいだろアリア。」

アリア：「食べ物を粗末にしないで!!しかもそれ、私の桃まんじやないの!!!」モグモグ

キンジ：「食うな!!」

千冬：「銀八!!真面目にやれ!!練習にならないし怪我させる気か!!」

銀八：「がっ!!」

練習を見ていた千冬が銀八を金属バットで殴る。

銀八に代わり千冬が練習を見ることになり、

次の練習メニューは実践的外野ノックをすることになった。

(実際にピッチャーがボールを投げてやるノック。今回のピッチャーは古城。)

やっとちゃんとした練習が出きると、メンバーは思ったが約一名不安な表情をしていた。千冬の弟である一夏である。

シャル：「どうしたの?一夏?」

一夏：「いや、なんか忘れてるような気が...」

その不安は的中することになる。

千冬：「よし、いいぞ。来い!!まずはライトだ!!」

古城：「いきまーす!!ヌオオオオツ!!」

ビュツ!!

ここで一つ質問がある。生身でISのブレードを持てるほどの力を持つ千冬が野球のノックをしたらどうなるだろうか？

カキーンツツツツ!!!

ドゴンツ!!!

ラウラ：「ぐぎややああ?!!」 ↑断末魔の叫び

シャル：「ら、ラウラー?!!?!!?」

一夏：「だ、誰か担架持つて来い!!ラウラに球が直撃した!!」

そう、答えは簡単。ものすごい威力とスピードがある球が飛んできく。しかも今回はライトを守っていたラウラにノックの球が直撃する。

千冬：「ん?どうした?今のは取れるだろうか?」

一夏：「いや、取れるか!!?つてかあんなの取れたらスゲーよ!!千冬姉!!もうちよつと力加減を考えろよ!!」

千冬：「力加減?大分弱く打ったぞ?あと、学校では織斑先生だ!!」

シャル：「あれで弱く打った!!?もつと力を抜いてください!!」

(#ラウラは数時間後に復活した。)

千冬は数分後に力をさらに弱くしてノックの続きをした。それでも威力は高く、打球が直撃して気絶するメンバーが続出する。

それでも銀八の練習よりはましだった。

そして、練習試合が明日に迫った今日、練習で汗だくの2-A野球部代理メンバーにクレイジーコーチの銀八は

銀八「よし!!これでお前たちをからか...ゲフン、教えることはない!!」

新八：「いや、今からかうって言いそうになっただろ!!」

キンジ：「ふざんけんな!!」

一夏：「実はSだったのかよ!!」

孝太郎：「あんな練習で強くなれるわけないだろ!!」
野球部代理メンバーのブーイングが銀八に集中する。
銀八はニヤリと笑って呟く。

銀八：「さて、試合が楽しみだな……」

続く

新八：「いや、ここで終わり!?!」

第六話：スポーツはルールを守れ

第六話：スポーツはルールを守れ。

前回のあらすじ

野球部がルースに半殺しにされ病院送りに。

運が悪いことに二週間後に強豪校S高校と練習試合があり、練習試合は入院中の野球部に代わり2―Aが代理で出ることになる。

練習試合当日

Side：とある球場

球場にはS高校野球部とクロス高校2―A野球部代理メンバーが交代で試合前のウォーミングアップをしていた。

強豪校といわれるS校は真面目にアップをしていたが、クロス高校野球部代理メンバーは適当にアップを済ませていた。

観客席にはクロス高校野球部とS高校野球部の試合を見るために来た人が来ていた。クロス高校側は2―Aの関係者と家族が中心でS高校側は二軍だろうか？野球のユニフォームを着た生徒が観客席に多くいた。

数分後メンバーは整列グラウンドに整列する。

主審：「これよりクロス高校対S高校の練習試合は行います。礼!!」

一同：「よろしくお願いします!!」

こうして練習試合が始まった。

Side：S高校サイド

S高校一番バッターは心の中で舌打ちをしていた。

バッター：「ちっ、何で俺達がこんな格下相手に練習試合なんかしないといけないんだ？まあいい。パワプロみたいにボコボコしてやるぜ!!」

クロス高校ピッチャー、古城がマウンドに立った。

審判：「プレイ!!」

古城が第一球を投げた。

ビュンツ!!

バシツ!!

バッター：「え……?」

審判：「ストライクツ!!」

バッターはあまりのスピードにビックリしていた。

バッター：（な、なんだ、あのスピードは……?）

キャッチャーの金三がボールを古城に投げる。

バッター：（何で格下の学校の球があんなに速いんだ!?

全く見えなかった!?)

続いて第二球

ビュンツ!!!

バッター：（一か八かだ!!）

ブンツ!!

バシツ!!!

スカツ!!

審判：「ストライク!! ツー!!」

第二球もストライク。掠りもしなかった。

バッター：（打てるわけないだろ!! あんな球!! ってか何であんなス

ピードの球を投げられるんだ!?)

そう思っていたときだった。バッターは謎の声を聞いた。

コロ……ス コ……ロス

バッター：（な、なんだ……? 今の声は……?）

その声の正体は……

古城：「コロスコロスコロスコロスコロスコロスコロスコロスコロスコ

スコロス……」ブツブツブツ……

バッター：「怖ツ!!」

それはそうである。何もしてないのにいきなりコロスと言われたら誰でも怖がるだろう。

古城：「コロスコロスコロスコロス!!!!」

バッター：「ちよ、ちよつとま」

ズドンツ!!!

パラパラパラ……

古城はボールをバッターの顔を狙って投げる。しかし、ボールはバッターの頭の少し上いき、ボールは当たらなかったが、後ろの壁に古城が投げたボールが直撃する。

ボールが直撃した所はRPG-7で撃たれたみたいになっていた。(RPG-7: 対戦車兵器の一種。装填数は一発)
ボールが直撃した場所を見てバッター、いやS高校野球部は思った。

絶対殺される、と

古城は三者連続三振で守備を終わらせた。

しかし、何故古城がクロスを連呼していたのか気になる読者もいるだろう。それを説明するためには少し時間を巻き戻す必要がある。

回想開始

Sid e: クロス高校野球部代理ベンチ

ウォーミングアップが終わったあと、クロス高校野球部代理メンバ―は試合開始の挨拶まで休憩していた。

銀八:「よし、そろそろ試合始まるぞー、準備しとけよー。」

2-A:「はい!!」

銀八:「あ、そういや古城、今思い出したけど、この前S高校の生徒がお前の妹をナンパしようとしてたぞ。」↑嘘

古城:「へえーそうなんですかー。よし、殺そう!!」

銀八:「え、ちよつと?古城君?」

古城:「焰光の夜伯(カレイドブラッド)の血脈を継ぎし者暁古城が汝の枷を」

雪菜:「落ち着いてください!!先輩!!」

古城:「落ち着いてるよ、姫終。だから邪魔するな。あいつら殺せないから。」

孝太郎:「妹ナンパしただけでそこまでやるな!!」

銀八:「と、とにかく、やるならスポーツでボコボコにしてやれ!!」

古城:「分かりましたよ。スポーツでボコボコにして殺ればいいんですね。」

銀八:「そのやるじゃねーよっ!!どんだけ妹ナンパしたやつ殺した

いんだよ!!」

つまり古城がクロスを何回も言っていた理由を簡単に説明すると只のシスコンである。

古城：「誰がシスコンだ!!」

雪菜：「先輩、誰に言っているんですか!?!」

古城：「作者にだよ!!」

キンジ：「オイイイイイ!!言っちゃダメなセリフだぞソレ!!てか、これどこかで見たことあるぞ!?!」

(※第一話のこと)

回想終了

side：クロス高校野球部代理ベンチ

銀八：「よ、よーしお前ら次はこっちの打撃だ、気合入れていけよー

!!」 ガタガタ：「ブルブル：」

一夏：「先生何で震えてるんですか?」

銀八：「い、いや何でもないぞ!」

一夏：「?」

銀八：「(い、言えねーよ、古城に気合入れようとして嘘言っただけで逆に悪化してしまっただって言えるわけねー：：てか、バレたら殺される：：)」

千冬：「ガタガタ震えてる奴は置いといてさっさと一番バッターはバッターボックスに行け。」

宗介：「はい!!」

一番バッターの宗介が返事をする。
ちなみにクロス高校の打順は、

1 宗介

2 雪菜

3 一夏

4 孝太郎

5 金三

6 古城

7 かなめ
8 ルース
9 キンジ
である。

銀八：「とにかくおもいつきり打て。そーすりや当たるからな。」

宗介がバッターボックスに立ったところでプレイ再開。

第一球、真ん中のストリート

キンジ：「真ん中だ!!打て!!」

ポイツ!!

しかし何故か宗介はバットを捨ててしまった。そして何処からかイサカM37を取りだし、何の躊躇いも無くピッチャーに撃った!!

ズガンツ!!

S校ピッチャー：「ギヤヤヤヤヤ!!??」

(※大変危険です!!絶対に真似しないでください!!)

銀八：「は...?」

さらに宗介はイサカでピッチャーを攻撃する。

ズガンツ!!ズガンツ!!ズガンツ!!ズガンツ!!

(※しぶといようですが、大変危険です!!絶対に真似しないでください!!)

宗介：「よし」

銀八：「よし、じゃねーよ!!」

バキツ!!

銀八は木刀で宗介の頭をおもいつきりぶん殴る。

審判：「退場!!」

審判は宗介に退場処分にする。当たり前である。

(※ちなみに宗介はスポーツのルール違反を普通にやる。

例：空手の試合で銃（非殺傷弾）やガスを使う。武器は禁止と言われたら、手榴弾（ピンは抜いていない）を囷にして蹴りで攻撃したあと男の大事な所を何回も殴るなど。）

審判：「なんで野球の試合でショットガンを使う!?!殺す気か!?!あと、何処からショットガン出した!?!」

宗介：「あれは非殺傷弾だ。死ぬことはありません。」

審判：「だとしても撃つたら駄目だ!!」

宗介：「いや、先生がおもいつきり撃てつて…」

銀八：「その撃てじゃねーよ!! バットでボールを打てつて言ったんだよ!!」

数分後…

S 高校ピッチャーは病院に搬送されたが命に別状は無かったが、3 日程入院することになった。

退場した宗介に代わり沖田がバッターボックスに入り、プレイ再開。

第一球

ビュンツ!!

スカツ!!

審判：「ストライク!!」

続けて第二球。

ビュンツ!!

カキーンツ!!

打った打球はファーストとセカンドの中間に飛び、ヒットになった。

銀八：「よーし良いぞ、次の奴は沖田に続け!!」

二番目のバッターは外野手の雪菜だった。雪菜は礼儀正しく一礼して、ボックスに入った。ここまでは良かった。しかし雪菜が構えているのは何故かゴルフクラブだった。

審判：「バットにしなさい。君の原作ネタをここで出さなくていいから。てか、君達はルール守る気はないの?」

審判は静かに注意する。

(※雪菜はゴルフクラブを初めて見たときメイスの一種と勘違いしたことがある。)

第一球から雪菜は思い切ってバットを振った。それが功となったのか、ライト前ヒットになった。

続く三番バッターの一夏は、変化球にやられるなどで追い詰められ

るが、センター前にヒットを放ちノーアウト満塁とチャンスを広げていく。

此処から恐怖の三者連続強打者地獄に突入する。

まず四番バッターの孝太郎が、一発目からレフトに大きな当たりを放ち、ツーベースヒットで三塁の沖田と二塁の雪菜がホームイン。二点リードとなった。

続く五番バッターの金三もツーベースヒットを打ち、さらに一点追加。

恐怖の強打者地獄最後の男はシスコンである。

古城：「だから誰がシスコンだ !!」

怒りが力となったのか、古城は初球から思い切ってバットを振り、ギンッ!!という強烈な打撃音のあと打球はマウンドに突き刺さり、ホームランとなった。これでリードは五点となった。

続く七番バッターのかなめはライト前にヒットを放つが八番バッターのルースがセカンドの正面にボールを転がし、フォースプレーでゲッツーになった。これでツーアウト。

最後のバッターのキンジも変化球にやられ空振り三振となった。

攻守交代でS校の攻撃に変わるが、古城が投げる豪速球に全く歯が立たず三者連続三振となり、すぐにクロス高校の攻撃になった。

クロス高校はこの回も容赦ない攻撃で点数を稼いでいく。

1アウト一、二塁の場面で孝太郎のタイムリーヒットでリードを6点に広げると五番の金三がホームランで7点リードとなった。

この時点でS校野球部は心を折られかけていた。それはそうである。格上である自分達が格下である学校にここまで差を付けられるとは思っていなかったからである。

それに追い討ちをかけるように次のバッターの古城が本日二度目のホームランを放つ。これで差は8点。さらに心をへし折られる。

審判：「もうやめたげて!!S校のライフはもう0よ!!」

審判はこの状況を見ていられず、この試合を中断する。

こうしてクロス高校野球部代理対S高校野球部の練習試合は8対0クロス高校の圧勝に終わった。

この試合で、S高校野球部は心をへし折られ、しばらくの間成績不信が続くことになる。

銀八：「やり過ぎた…。」
完

第七話：シスコンと女の嫉妬と武器のテストは怖い

第七話：ブラコンと女の子の嫉妬と武器のテストは怖い

side：とある個室レストラン

千冬：「いいか？奴、Cがあいつに近づくのは二日後の10:00だ。」

箒：「はい。一夏と一緒にいるあいつを殺す。そうすれば…」

ラウラ：「嫁の独占を阻止できる!!」

鈴：「声が大きいわよ!」

銀八：「おい。」

千冬：「なんだコードネーム、シルバーエイト?」

銀八：「銀八な。何で俺こんなところに呼び出されてるんだ?」

千冬：「さつきも言っただろう。一夏に近づくCを始末するための作戦会議だ。」

銀八：「いや、それは聞いたけどよ、そのCって奴は誰だよ?」

千冬：「二日後になったらわかる。とにかく、各員準備を怠るなよ。」

二日後…

Said：クロス高校の近くの遊園地

一夏はとある人物と待ち合わせをしていた

一夏：「もうそろそろかな…?」

?：「いちかー!!」

一夏：「シャル!!」

?↓シャル：「ごめん、遅くなって!」

一夏：「いや気にするな、俺も着いたところだ。それより早く行こうぜ!」

シャル：「うん!」

Said：遊園地の近くのビルの屋上

千冬：「おのれCめ…!!私の一夏を奪いよって…!!」

銀八：「いや、Cってシャルロットの事かよ!?てか、お前何してるの

!？」

千冬は何故か色が濃いサングラスをかけ、何処から調達したのかスナイパーライフルでシャルを狙撃しようとしていた。

千冬：「何って奴を殺そうと…。」

銀八：「駄目に決まってるだろ!!お前教師だろ!?生徒を殺す気か!」

千冬：「今の私は教師ではない!!弟思いの姉の殺し屋 sister 13だ!!」

銀八：「弟盗られたからってそこまでやるか普通!?てか、箒、お前あいつ止めるよ。」

箒：「箒?誰ですか?私はファースト幼なじみの殺し屋、モツピー13です!!」

箒は千冬と同じく濃いサングラスとスナイパーライフルを装備し、シャルを狙撃しようとしていた。

銀八：「お前もかよ!!じゃあ鈴!!お前止める!!」

鈴：「鈴?誰よそれ?私はセカンド幼なじみの殺し屋、酢豚13よ!!」

銀八：「何で酢豚!?コードネームが酢豚ってダサすぎだろ!!」

鈴：「う、うるさいわね!!千冬さんに勝手に決められたのよ!!」

銀八：「もつとヒネレよ!!お前貧乳だから、貧乳13でいいだろ。」

鈴：「誰が貧乳よ!!」ズカンッ!!

→

貧乳

銀八：「うおおお!!」

鈴はスナイパーライフルで銀八を攻撃する。

銀八：「おい!!ラウラ!!お前コイツら止め「ラウラ?誰だそいつは?」被せんな!!…で、コードネームはなんだ?」

ラウラ：「私は嫁 love の殺し屋 B, R (ブラック・ラビット) 13だ!!奴を殺して嫁を独占してやる!!」

銀八：「そこまでして独占したいのかよ!?べつに殺さなくても大丈夫だろ!」

そのときだった。

箒：「ああ!!千冬さん!!あれを見てください!!」

千冬：「なんだ?急...に」

千冬はスナイパーライフルのスコープで一夏達がいる所を見ると、一夏とシャルが手を繋いでいる所だった。

千冬：「ぬあああああああ!!?て、手を繋いでいるだど!!?!!?」

鈴：「おのれCめ!!なんてうらやましいことを!!」

ラウラ：「教官、発砲許可を!!奴を仕留めましよう!!」

千冬：「よし!!許可する!!全員撃ち方用意!!目標C!!よく狙えよ!!」

銀八：「だから止めろつて!!そんなことしても意味がな(シユルルルルル...)。うん?なんだ?この音は?」

銀八達は音が見る方を見て目を見開いた。何処からか大量の小型ミスイルが銀八達がいる方向に飛んできたのである。

鈴：「な、なんでこんな所にミスイルが飛んでくるのよ!」

銀八：「そんなこと言ってる場合か!!早く逃げろ」

ズガガガガガガガッ!!!

暗殺者+α：「ギャアアアアア!!」

この時銀八は思った。これ天罰だな、と

S a i d : クロス高校装備科エリア (回想?)

銀八達がミスイルに当たる少し前、キンジとアリア、孝太郎、古城と雪菜はとある生徒に呼ばれていた。

キンジ：「遅いな...」

孝太郎：「まあ、アイツ体力ないからなー。」

アリア：「そんなに体力ないの?」

孝太郎：「アイツは基本研究室に引き込もってるし、運動も全然してないから体力がない。」

?：「お待たせしましたわね。コータロー。」

孝太郎：「遅いぞ、克蘭。」

?↓克蘭：「すいません。今回テストしてもらおう武器の最終チェックをしましたの。」

克蘭：「最初に古城さんの武器ですわ。注文はVZ85を二丁で

したわよね?。」

古城：「ああ、そろそろこいつも限界だからな。」

古城が使っていたVZ68KCは性能は高いが壊れやすく、その度に修理をして使っていたのだが、3日ほど前にとうとう修理できないレベルまでになってしまったのである。

古城はこの機会に新しい銃を買うことにしたのである。

克蘭：「このVZ85も貴方が使っていたVZ68KCと同じ改造をしたので普段通りに使えますわ。あと勝手ながらさらに改造させて貰いましたわ。」

古城：「改造?どんな風にだ?」

克蘭：「一つはレーザーポインターを装着して命中率を上げるようにしました。」

次にこの専用のマガジンにあなたの魔力を充電することで、魔力のビームを撃つことが出来るようになり、セミオートで撃てば強力なビームを、フルオートで撃てば強力な弾幕を張れますわよ。

更にストックを取り外し可能にし、特殊なパーツを使って発射時の反動を少なくしましたわ。」

古城：「オイイイイ!!一つ目はいいけど二つ目からはおかしいぞ!?改造ってレベルじゃねーよ!!魔改造じゃねーか!!」

克蘭：「そうですか?これぐらい普通ではないのです?」

孝太郎：「これの何処が普通だ!?何でスコープオンでビーム撃てるんだよ!」

(※スコープオンはサブマシンガンです。当たり前ですが本物のスコープオンはビームは撃てません。)

(※ちなみに克蘭、ティア、ルースの三人は宇宙人で、三人の故郷の星は地球の技術を大幅に上回る。

例：宇宙戦艦、ビームサーベル、ビームライフル、ロボット等)

克蘭：「次は雪菜の銃ですわ。まずはS&WM10(ビクトリーモデル)改とサイガ12改ですわ。どちらも発射時の反動を少なくし、対魔族弾を発射可能ですわ。」

キンジ：「あ、今回は普通だな。」

クラン：「あと武器収納用ケースも新しい物を作りましたわ。あなたの雪霞狼の他に今渡したサイガを収納出来るようにし、緊急医療パック（消毒スプレー、包帯、ガーゼ、縫合セット、絆創膏、医薬品e t c.）も入れられるようにしました。」

クラン：「最後にこの武器をテストさせていただきますわ。」

そう言つてクランがコンテナから取り出したのは…

孝太郎：「？なんだこれ…？」

謎の三角柱だった。

クラン：「これが今回の自信作の小型マイクロミサイルですわ!!」

（※デンドロビウムのマイクロミサイルをイメージしてください。）

アリア：「いや、ちよつと待って!?!これ当たったら確実に死ぬわよね!?!」

雪菜：「何でそんな物作ったのですか!?!しかもこれ何処かで見たことがありますよ!?!」

クラン：「大丈夫ですわ。火薬の量は減らしてますから当たつても死にはしません。という訳で、今からあなた達にこれを使います。」

孝太郎：「使うな!!火薬の量少なくても危ないって!!」

クラン：「でもあなた達はこれぐらいでは死なないでしょう?という訳で、ポチツと」

キンジ：「お、オイちよつと待「ズガガガガガンツ!!!」
ギヤアアアアア!?!?!」

此処まで読めば読者の皆さんはわかっただろう。銀八達の所に大量の小型ミサイルが飛んできた原因はクランがマイクロミサイルのテストをしたからである。

最悪なことに今回武器のテストした場所は銀八達いるビルの近くだった。

ちなみにこのテストでクロス高校武器開発エリアはほぼ壊滅し、キンジ達は勿論、ミサイルによる被害を受けた生徒達は3週間ほど入院することになった。

S a i d : 遊園地の近くのビルの屋上

嘘予告? : クロス高校の日常×龍が如くOF THE END

嘘予告? クロス高校の日常×龍が如くOF THE END

注意!!

①これは作者が息抜きで書いたものです。この嘘予告で書いた話を元に新しい話を書く予定はありません!!

②この嘘予告は龍が如くOF THE ENDにクロス高校のキャラを追加したもので、原作の話と若干内容が変わってます。それでも良い人はお読みください。

③この嘘予告を使って新しい話を書いてもらっても構いません。(多分ないと思いますが)

④龍が如くのキャラが若干崩壊してるのでご了承ください。

第一章

秋山駿、織斑一夏、シャルロット・デユノア(シャル)編

その日、一夏とシャルはある依頼を受けていた。

その依頼の内容は、借金の取り立ての協力である。依頼者は町金融スカイファイナンスの社長の秋山駿だった。

なぜ借金の取り立てで依頼したのか?それには理由がある。その借金の取り立ての場所が極道関係者がよく通る危険な場所だった。そのため大金を持っていると襲われる可能性がある。

秋山は少ない相手だったら倒せるが、大人数となるとさすがにキツイ為、今回は用心棒として依頼を出し、一夏とシャルが呼ばれたわけである。

依頼が終わり、スカイファイナンス社員の花と合流し、秋山が三人に夕飯を驕り、一同がスカイファイナンスに戻ろうとした時だった。

すぐ近くのビルから銃声が聞こえ、暫くすると銃声が止み、ビルの窓から極道と思われる男が落ちてきた。

極道と思われる男の周りに人が集まり、秋山達もその場所に向かう。その時、死んだと思われる男が起きあがる。

それと同時に警察が現場に到着。

警察の一人が男に大丈夫か尋ねた次の瞬間、男がゾンビとなって警察の一人に噛みついた!!

噛まれた警官はその場に倒れ、ゾンビが次の警官に噛みつく。噛まれた警官は最後の抵抗で持っていた銃で攻撃するが、ビルの上から複数のゾンビが現れ、噛み殺される。

一夏：「どうなってんだよこれ……俺達は悪い夢でも見てるのか……？」

秋山は極道ゾンビが落とした拳銃を拾い、ゾンビに銃口を向ける。それと同時に一夏とシャルが自分の銃を構える。

三人は花を助けるため、囿になってその場を離れるがその先は行き止まりだった。追い込まれた三人が見たのは、最初に落ちてきたゾンビ達に加え、噛まれた警官がゾンビになって現れた。

シャル：「嘘……増えてる……」

秋山：「え、えーと、穏便に話し合う気はないんだよね？きつと。絶対無理なんだよね？だったら悪いけど俺達はこんなところで死にたくないんだ……!!」

三人はゾンビに攻撃を開始する。

三人はなんとかその場を振り切り、花と合流したあとスカイファイナンスに戻る。

だが三人は知らない……これは大きな事件の始まりに過ぎないことを……

第二章

真島吾朗、遠山キンジ、神崎・H・アリア編

視点

真島 s i d e

東城会若頭補佐直系真島組組長の真島吾朗はその日自室で大好きなゾンビ映画を見ていた。真島の近くの机には二人の男が写った写真があった。

時間を戻して二日前

真島は東城会の緊急会議に参加していた。その内容は、今から五年前にあった大阪の極道組織近江連合との抗争の糸を引いていた男郷田龍司と郷田の弟分だった男二階堂哲雄が都内にいる写真が一昨日撮られた。

その二日後には神室町ヒルズの竣工セレモニーがあり、そのセレモニーには東城会の幹部が全員顔を揃える。そのため、二人が現れたタイミングが良すぎた。

そこで東城会六代目会長堂島大悟は、真島に他の組と連携して、警備の強化指示した。

時間を元に戻して現在

真島がゾンビ映画を楽しんでる所に真島組の部下が悲鳴を上げながら部屋に入ってきた。真島が部下を叱ろうとしたのと同時に、目を疑う物を見た。

なんと真島の部屋に本物のゾンビが現れた!!真島は自分が見ていた映画とゾンビを交互に見る。

真島：「オオッ!!やっぱホンマもんは迫力がちやうなあゝ最高や!!まさか本物のゾンビと戦える日がくるとはのう...」ニヤリツズカンッ!!

真島は襲つて来たゾンビに愛用のショットガンを発砲。

真島は下に脱出にするため近くにいるゾンビを殺していく。

視点変更

真島 s i d e ↓ キンジ・アリア s i d e

一方その頃キンジとアリアは自分達が使うための弾丸を補充するためミレニアムタワーの近くにある武偵専門の武器屋に来ていた。

弾丸を買ったあと、二人はミレニアムタワーの近くの店で昼食を食べようとした時だった。二人は謎の悲鳴を聞いた。それと同時に近

くにいた人達は慌てて逃げようとしていた。

二人は人が逃げようとした逆方向を見た。その視線の先には大量のゾンビが!!

キンジ「嘘だろ…。なんでこんな所にゾンビが出てくるんだよ!!」
アリア：「そんな事より早く銃構えて!!少しでも数を減らすわよ!!」
キンジとアリアはゾンビを倒すために愛銃を構え、発砲する。近くにいるゾンビを全て殺したあと、逃げ遅れた人がいないか探しに行った。

その数分後ミレニアムタワー入口前で二人はとんでもないものを見た。なんと謎の巨人と眼帯を着けた男…。真島が戦っていた!!それを見て二人は真島の援護に向かう。

視点変更

キンジ・アリア side ↓ 三人称

何とか巨人を撃破した三人は自己紹介をしたあと、真島の携帯に電話がかかってきた。電話の途中で銃声と悲鳴が聞こえた。どうやら神室町ヒルズにもゾンビが現れたようだ。

三人(約二名はほぼ無理矢理)は神室町ヒルズへ向かうことになった。

第三章

郷田龍司、里見幸太郎、ルースカニア・ナイ・パルドムシーハ(ルース)編

視点

龍司 side

郷田龍司は今から五年前の抗争のあと、近江連合を破門にされた。その後彼は東京のとあるたこ焼き屋に弟子入りしていた。それから五年が経った時だった。彼はある男と話をしていった。

その男の名は二階堂哲雄。龍司の元弟分の男だった。彼は龍司に近江連合に戻るよう何回も説得していた。だが、龍司は破門にされた近江連合に戻る気は無く。破門にされたことにも納得していた。

弟分の二階堂は龍司が破門にされたことを納得しておらず、龍司が

破門される理由を作った、伝説の極道桐生一馬と東城会を憎んでいた。

二階堂は何度も説得したが、龍司は戻るつもりはなかった。

二階堂はその日の説得を諦めたが、龍司に小さな地図らしき紙を渡し、意味深な言葉を残し帰って行った。

そしてその四日後、神室町にゾンビが現れた。

龍司：「なんやこれは!?コレがテツ(※二階堂の事)がやろうとしてたことか!？」

龍司は二階堂を止めるために地図に書いてあった場所に向かう。その向かう途中にゾンビと遭遇。龍司が迎え撃とうとしたの時だった。龍司はとある知り合いと再会する。

視点変更

龍司 side ↓ 孝太郎・ルース side

その日孝太郎とルースは神室町の近くのデパートに行っていた。何故二人はデパートに居るのか?それには理由がある。

二人の知り合いの一人にめでたいことがあり、それを祝うために色々と準備をしていた。

いる物を買ったあと、二人はデパートを出て一度寮に戻ろうとした時だった。

デパートから少し離れた所にあるバリケードが破られ、大量のゾンビが人々を襲い始めた!!

孝太郎：「くそ!!何で俺はこんなにも厄介事に巻き込まれるんだ!!ルースさん!!」

ルース：「はい!!親方様!!(※孝太郎の事)」

それを止める為孝太郎達は武器を取りだしゾンビを攻撃する。

ゾンビを倒したあと、近くに逃げ遅れた人がいないか探しに行く。そしてその数分後二人はゾンビが現れ、迎え撃とうとしている龍司と再開する。

実は孝太郎は、たこ焼き屋で修行をしている龍司と何度かあったことがあり、二人が会った時は話をすることが良くあった。

視点変更

孝太郎・ルースside↓三人称

三人が近くにいるゾンビを全て殺した時だった。ここからすぐ近くのバツティングセンターから銃声が聞こえ、三人は何があったのか調べる為バツティングセンターに向かう。

第四章

桐生一馬、暁古城、姫柊雪菜編

(※秋山駿編開始前のデモをイメージ)

視点

桐生side

養護施設アサガオ：それは伝説の極道桐生一馬が極道を辞めた後に作った養護施設である。

その日桐生は謎の男から桐生が世話になっていた養護施設ヒマワリの招待で沖繩を離れていた娘も同然の女の子、遥を誘拐したという電話が掛かって来た。

？：「桐生一馬さんでんな…」

桐生：「誰だ…？」

？：「お宅の娘さん… 遥さんをお預かりしとるもんですわ。」

桐生：「遥は無事なんだろうな…」

？：「今代わりますわ。」

遥：「おじさん… 助けて…」

桐生：「遥…」

遥：「町が… 神室町が壊れちゃう… 壊れちゃうよおお!!」

桐生は遥を助けるため神室町へ向かう。

桐生は神室町に向かう途中で自分と同じ目的の人物と出会う。

視点変更

桐生side↓古城・雪菜side

暁古城はその日、姫柊雪菜と一緒にプール掃除をしていた。何故人はプール掃除をしているのか？それには理由がある。

少し前に中間試験があったのだが、その日古城と雪菜は風邪で熱を

出してしまい、無理してテストを受けたが結果はボロボロ。

その結果を見た邪月は救済措置としてプール掃除を二人に命じた為である。

プール掃除が終わり、二人が寮で休んでいた時だった。古城の携帯に電話がかかってきた。

?:「暁古城だな?」

古城:「誰だ?何で俺の携帯の番号を知っている?」

?:「答える義理はない。お前の妹、暁風紗を誘拐した。」

古城:「なんだと!?てめえ風紗に手を出してないだろうな!」

雪菜:「先輩!!落ち着いてください!!」

?:「安心しろ、なにもしていない。今変わってやる。」

風紗:「古城君!!助けて!!」

古城:「風紗!!」

雪菜:「風紗ちゃん!!」

?:「これで本当だと分かったか?返して欲しければ東京の神室町に來い。俺は神室町の何処かにいる。」ブツツ!!

古城:「オ、オイ待て!!:.:.くそ!!切りやがった。」

古城と雪菜は風紗を助けるため神室町に向かう。

その途中、ある男と出会う。その男の名は桐生一馬。

彼はさらわれた女の子を救うため神室町に向かっていた。三人はお互いの事情を説明し、大切なものを取り返すために協力する事になった。

そして三人は神室町に到着する。

視点変更

古城・雪菜 side ↓ 三人称

(桐生一馬編の開始デモをイメージ)

神室町について三人が見たものは隔離エリアを封鎖するためのバリケードの近くに沢山の報道陣とその対応をしている警察だった。

三人はバリケードの方へ歩いていく。丁度その時、報道陣が桐生達に気付きカメラを桐生達に向ける。

バリケードの近くに着くと古城と雪菜は風紗の携帯に、桐生は遙の

携帯に電話を掛ける。

だが二人の携帯にはつながらず、携帯の電話を切る。それと同時に
だった。

後ろからトラック二台がバリケードに向かって猛スピードで突撃
を開始。それに気付いた報道陣と警察は安全な場所まで待避する。

そしてトラック二台がバリケードに激突し、人が一人入れる幅の隙
間ができた。

トラックの窓から極道の男が顔を出す。

極道の男：「よ、四代目… 神室町を… 頼みます…」

桐生：「ああ… ご苦労だった。」

警察：「き、貴様!!なんて事を!!」

警察の一人が桐生を無理矢理捕まえようとしたが、雪菜が横から警
察の腕を掴む。

雪菜：「邪魔しないでください。今私達はものすごく腹を立ててい
るんです。」

雪菜は警察を後ろに投げ飛ばす。

三人はバリケードの隙間から隔離されたエリアに入って行く。そ
こで三人が見たものは壊滅状態の町と大量のゾンビだった。そのう
ちの一体が桐生にぶつかる。

桐生：「オイ、何処見て歩いてんだ… オラッ!!」バキッ!!

桐生はゾンビを殴った。殴ったゾンビは後ろのゾンビにぶつかる。
ちようどその時、三人はゾンビに囲まれてしまった。

古城：「お前ら邪魔するなよ… 俺達は今ものすごくイライラし
てんだよ…」

桐生：「かかってこいや… 俺達がまとめて相手してやる
ぜ…!!」

桐生達はゾンビ達を倒すため戦闘を開始する!!

キャラ固定武器

(※ゲームの武器・小説・オリジナル・漫画等の武器あり)

(※龍が如くキャラの武器は基本的に変更無し)

(※クロス高校の日常の設定集で出てこない武器あり)

(※(M)はメイン武器 (S)はサブ武器)

秋山駿

極道の拳銃↓マケドニアシューター(2丁拳銃)(M)

織斑一夏

雪片二型 (M)

ベレッタCX4改(AIS弾使用可能ライフル)(S)

シャルロット・デユノア

グロック18改×2(AIS弾使用可能2丁拳銃)(M)

真島吾朗

Mark IV・EXP(ショットガン)(M)

遠山キンジ

ベレッタM92Fキンジモデル(M)

デザートイーグル50AE(S)

神崎・H・アリア

コルト・ガバメント×2(M)

郷田龍司

右腕部ガトリングアーム「黒鉄丸」(M)

里見孝太郎

騎士剣サグラティンor騎士剣シグナルティン(※戦闘時に使い分ける。基本的にサグラティンを使う。)(M)

グロック17(S)

ルース

ビームソード×2(M)

UZI (S)

桐生一馬

素手↓ワルサーP99↓(M↓S) XK. 50対物狙撃銃 (M)

(※ワルサーは龍が如く of the end本編には登場しない。狙撃銃入手後サブ武器に変更)

暁古城

VZ85KC×2 (M)

(※一丁は予備。対魔族弾使用可能サブマシンガン。桐生狙撃銃入手後魔力ビーム使用可能)

試作型対魔族用拳銃 (S)

姫終雪菜

雪霞狼 (M)

サイガ12改 (対魔族用散弾使用可能ショットガン) (S)

第八話その①：俺達が学校対抗バラエティーに出ることは間違っている

第八話その①：俺達が学校対抗バラエティーに出ることは間違っている
Side：とあるスタジオ

集：「さあ始まりました!!学校対抗バラエティーVS学校!!今回実況をさせていただきます、わたくし舞子集と」

楯無：「解説の更識楯無です!!よろしくお願いします!!」

銀八：(あれー???なんで俺達テレビなんかに出てるんだ???) ↑小声

(※以後S)

孝太郎(それはこっちの台詞ですよ先生!!なんで俺達まで巻き込まれてるんですか!?) S

千冬：(銀八、お前校長先生と理事長の話聞いていなかったのか?) S

銀八：(話?なんだよそれ?) S

千冬：(何でも私達の学校の入学人数が年々減少していて、それを無くす為にPR活動としてこの番組に出演する事なったんだ。もし、この番組の勝負に勝ったら私達は給料アップ、この番組に出演した生徒達はある程度だが単位を与えられるらしい。あと賞金と商品はメンバー全員で山分けする。ただし、負けたら報酬はゼロだ。) S

一夏：(なんか戦●中みたいだなこれ。) S

(※戦●中は参加者にボール当てて、最後まで生き残った人が賞金を手に入れることができる。負けたらゼロ。制限時間あり、オーバーすると全員報酬は無しになる。)

古城：(まあとりあえず勝てば報酬貰えるから負けないようにしましょう。)

ぜ。) S

集：「この番組は出場した二つのチーム（最大メンバーは一チーム十名他校との協力あり）がさまざまなジャンルの種目で対決し、獲得したポイントの合計を競い合う番組です。では今回出場する学校を紹介しましょう。」

楯無：「まず赤コーナーから、クロス高校チームの登場です!!メンバーは、生徒から暁古城、姫柊雪菜、織斑一夏、シャルロット・デュノア、遠山キンジ、矢田レキ、遠山金三、里見孝太郎の八名と、2―A担任坂田銀八、2―A副担任織斑千冬の二名を加えた合計十名です。」

集：「続いて青コーナーからは学園都市選抜チームから、上条当麻、土御門元春、青髪ピアス、御坂美琴、白井黒子、後から来る援軍一名の合計六名です。」

キンジ：「司会、ちょっと聞きたいことがある。」

集：「何ででしょうか?」

キンジ：「相手メンバーの人数が少くないか?」

集：「ああ、その事ですか。今回学園都市チームからはlevel5が援軍含め二名参加するため、level5は一人で三人分とさせていただきました。では最初の対戦種目を発表します。最初の対戦種目は……叩いて被ってジャンケンポンです。」

叩いて被ってジャンケンポンルール

一対一でジャンケンをして勝ったらハンマーで負けた相手の頭を叩く。負けたらヘルメットを被ってハンマーで叩かれる前に防ぐ。先に相手の頭にハンマーを直撃させた方が勝利となる。

今回は一チーム三名で勝負を行い先に二回勝利したチームにポイントが入る。

今回対戦するメンバーはクロス高校チームからは、先鋒織斑一夏、中堅矢田レキ、大将姫柊雪菜が出演。対する学園都市チームは、先鋒青髪ピアス、中堅白井黒子、大将御坂美琴が出演する。

というわけで、

先鋒戦

織斑一夏対青髪ピアス

先鋒二人「よろしくお願いします。」

青ピ：「しかし、君のお姉さんすごい美人やな〜」

一夏：「ははは、いいだろう？」↑姉を褒められて喜んでる。

青ピ：「それに胸もでかいし、スタイルもいい、よかったら僕に下さい!!」

一夏：「誰がやるか!!! どうしても千冬姉が欲しいなら俺を倒してからにしがれ!!!」↑シスコン発動

楯無：「あのーそろそろ始めますよ？時間も余りないですし。」

一夏：「あ、すみません。」

楯無：「では、始めます…… 叩いて♪被って♪」

一十青「ジャン・ケン・ポン!!」

結果

一夏：チヨキ

青ピ：グー

青ピ：「おっと!!セーフ!!」

青ピは、すぐに反応してヘルメットを頭に被る。

シャル：「い、いやセーフじゃない!!早く逃げて青ピ!!」

ピアス：「え……? ってうおお!!」

シャルの声を聞いて何があったのかわからない青ピは、謎の殺気に気づいた。殺気の正体は、謎の呪文（呪詛?）を唱えながらハンマーを構えている一夏の姿が!!しかもハンマーからは謎のオーラを放出していた。

青ピ：「え…… ちょっと!?俺ヘルメット被って…… 「ウオオオリヤアア!!!」

ドゴオオオオオオオンツツ!!!
ピアス：「ぐぎややあああああ!!!」

一夏が放った一撃は青ピのヘルメットを破壊し、青ピの頭にクリティカルヒットする。

（注：一夏が使ったハンマーは普通のピコピコハンマーです。）

一夏の一撃をもらに喰らった青ピは気絶してしまう。
全員：(ルール関係ねーじゃん……………)

その場にいた全員はこう思っていた。

当麻：「青ピイイイイ!?!!しっかりしろおお!?!!」

土御門：「オイ!!なにしてくれてんだ!!」

一夏：「ああ……………? やんのかコラ……………? ブツコロス
ゾ……………」

バツ!!

一部を除く全員：「すみませんしたつ!!!」 ↑全員土下座

美琴：「あんた達…………… いろいろ大変そうね……………」

雪菜：「いや、もうなれてますから…………… 色んな意味で……………」

楯無：「え、えー、青髪ピアスが戦闘不能になったのでこの試合は無効試合とさせて頂きます。次の人からはちゃんとルール守って下さい!!」

勝者：なし (ノーコンテスト)

(注：スポーツとゲームはちゃんとルールを守りましょう)

(※青髪ピアス、意識不明の為一時退席)

【チーン……………】

気を取り直して

中堅戦

矢田レキ対白井黒子

黒子：「よろしくお願いしますの。」ペコリ

レキ：「……………」

黒子：「あの?もしもし?聞いてますの?」

キンジ：「あー、悪いけどレキはあまり喋らないんだ。気にしないで始めてくれ。」

黒子：「わ、わかりましたの」

楯無：「では、始めます…………… 叩いて♪被って♪」

黒子：「ジャン・ケン・ポン!!」

レキ：「……………」

結果

黒子：パー

レキ：グー

黒子は勝つてすぐにハンマーでレキの頭を叩く。

ピコッ!!

黒子はハンマーを振りかぶった。しかしレキはヘルメットでガードをしないでぼーっとしていた。

そのためハンマーは無抵抗のレキの頭にヒットした。

ズルッ!!

あっけなく勝敗が決まってしまい、全員ずっこける。

キンジ：「つてオイ!!何で無抵抗なんだよ!?!」

レキ：「……………すう」↑実は三日前から任務で一回も寝ていない

キンジ：「つて寝てるううう!?!」

レキ：「すう……………すう……………」↑起きる気配なし

集：「え、えー勝者は学園都市チームの黒子さんです。あと、今連絡が入ったのですがレキさんは昨日まで三日間徹夜だったみたいなので、とりあえずレキさんは休ませてあげて下さい。」

勝者：白井黒子

(※矢田レキ、睡眠中の為一時退席?)

【チーン……………】

という訳で

大將戦

姫柊雪菜対御坂美琴

美琴：「お願いします。」

雪菜：「こちらこそ。」

楯無：「今回特別にあるものを二人に用意しました。ADさん、二人に例の物をお願いします。」

楯無はADにあるものを持ってくる様にいう。しかし出て来たのはADではなくBD (注：作者) だった。

楯無：「って何で!?!私呼んだのは作者じゃなくてADさんですよ!?!何で出て来たんですか!?!」

BD：「うるせえ、出番無くすぞ。とりあえず持つてきたぞ。」↑番組スタッフとして参加

BDは雪菜にはネコマタンをイメージしたヘルメット、美琴にはゲコ太をイメージしたヘルメットを渡す。

BD：「二人はヘルメットの元になったマスコットが好きだと聞いたので特別に用意した。そして今回勝利した方にはそのマスコットの激レアアイテムをプレゼントする。」

二人：「!!」↑殺（や）る気MAX

集：「じ、じゃあ始めますよ。では、叩いて」

雪+美：「ジャン!!ケン!!ポン!!」

集：「ってまだ最後まで喋ってませんよ!?!」

集の言葉を無視して勝手に始める二人。

二人の戦いはハンマーとヘルメットが全く見えないほど高速で攻撃と防御を繰り返す。

そして決着がつかないまま、5分経過……

雪+美：「ジャンケン!!ポン!!」

雪：パー

美：グー

ピコッ!!

雪菜のハンマーが美琴の頭に命中。

楯無：「そこまで!!勝者、姫柊雪菜!!」

オオオオオオオオオオオオツツツツ!!↑歓声

勝者：姫柊雪菜

これで一回戦の全勝負が終了。

結果

両チームチーム：一勝一敗引き分け一

楯無：「では、次の種目に入りたいとお「ストップ」ってなんですか?」

BD（カンペ）：「一旦CMです。」

ズルッ!!!

その②続く。

第八話その②人は丈夫に出来ていると聞くが実際は
そうでもない

第八話その②：人は丈夫に出来ていると聞くが実際はそうでもない
前回までのあらすじ

クロス高校2―A選抜チームと学園都市チームが学校対抗バラエ
ティーに出演する事になった。

一回戦の勝負の内容は叩いて被ってジャンケンだった。

先鋒戦織斑一夏対青髪ピアスの対決は一夏が青ピを強烈な一撃で
気絶させるが無効試合になった。

続く中堅戦は矢田レキ対白井黒子の対決だったのだが、試合中レキ
は寝ていて、黒子のハンマーを無抵抗で受け一発で試合終了。

最後の大将戦は姫終雪菜対御坂美琴の試合は二人の高速の攻防が
続き、最終的に雪菜のハンマーが美琴に直撃し、雪菜の勝利に終わっ
た。

両チーム同点で一回戦の試合は終了。ここから二回戦が始まる。

あらすじ完

side：とあるスタジオ

CM終了

集：「お待ちせしました!!只今から第二回戦を行います!!今回の対
戦種目は……PK対決です!!」

ルールは分かると思うので割愛します。参加人数は一チームキ
ーパー一名+キツカー三名の合計四名で行う。

クロス高校チームはキーパー遠山金三、キツカーは織斑千冬、暁古
城、里見孝太郎が参加し、対する学園都市チームはキーパー上条当麻、
キツカーは御坂美琴、土御門元春、先ほど復活した青髪ピアスが参加
する。

という訳で

クロス高校チームの攻撃は孝太郎からスタート。

里見孝太郎VS上条当麻

楯無：「では、始めます。ヨーイ、ピツ!! (↑笛)」

孝太郎は当麻の頭の右上を狙ってボールを蹴る。当麻はボールに反応して止めようとしたが、間に合わず、孝太郎が蹴ったボールがゴールに入る。これで一点獲得。

結果 ①②③

ク◎

学

次の学園都市チームの攻撃は土御門からスタート。

遠山金三VS土御門元春

土御門は呼吸を整えボールを蹴る。だが土御門が蹴ったボールは変な方向へ跳んで行き、ゴールから離れた所でボールは止まった。

結果①②③

ク◎

学?

次は千冬の攻撃から開始。

織斑千冬VS上条当麻

千冬はゴールの真ん中を狙っていた。

千冬：「……………!!」

千冬はおもいつきりボールを蹴った。ボールはものすごいスピードで飛んでいき、そのスピードに当麻は反応出来ずボールは当麻の股間にクリティカルヒットする。

当麻：「ツツツツツツ!!」↑声にならない叫び（もしくは悲鳴）

当麻：「ふ、ふこ……………?!?!?!う……………だ……………」

余りの痛さに当麻は気絶してしまった。

美琴：「ってちよつと?!あんと弟は人を気絶させないと気が済まないの!?!いくら何でも殺りすぎでしょ!?!」

(※詳しくは前回の話をチェック!!)

千冬：「い、いやそんなつもりはないぞ…………… たぶん?」

ピアス：「いやたぶんって!?!」

→前回の話で一夏の一撃で気絶した人

だがボールはゴールに入っていないのでクロス高校チームの得点は増えなかった。

(※上条当麻 男の急所にボールが直撃した痛みで気絶したため一時退席)「チーン……………」

結果①②③

ク◎?

学?

続いて学園都市チームの攻撃。

学園都市チーム二人目の攻撃は美琴から開始する。

楯無：「御坂さん、自信のほうはどうでしょうか？」

美琴：自信はあります。何かと自販機を蹴ってますから!!」↑無銭飲食の為に

銀八：いや、ちよつと!?自販機蹴ったらダメだからね!?やってるところと全然お嬢様じゃないぞ!」

(※絶対に真似しないで!!)

それはともかくプレイ再開。

美琴：「行くわよ……………ちえいさー!!!」

ストオンツ!!!

金三：「グワアアアアアア!!」

美琴が蹴ったボールはものすごいスピードで飛んでいき、金三の顔面に直撃。

それでもボールの勢いは弱まらずゴール乗るのネットをぶち破り後ろの壁にぶつかってようやく止まった。

金三：「う……………」ガクッ!!

古城：「ああ!」ガーンツ!!

雪菜：「金三さんが死んだ!!」ガーンツ!!

キンジ(怒)：「この人でなし!!」

金三：「い、いきてるから……………」↑ボロボロ

金三は何とか立ち上がる。

しかしボールによるダメージはかなりあつたらしくすぐに倒れてしまいその場から動けない状態が続いた。

(※約30分後に復活しました。)

結果①②③

ク◎?

学?◎

楯無：「ではクロス高校最後の攻「ストップ」って今度は何ですか?」

BD：「時間無いから巻きで。」

全員：「巻くなアアアアア!!!」

【※巻き…… テレビやイベントなどで時間が押しているため予定より早く終わらせる、もしくは切り上げること】

という訳で巻き中…… しばらくお待ち下さい。

……

……

………巻き終了

現在の各チーム成績

クロス高校：70

学園都市：90

楯無：「はいという訳で最後の勝負の方法を発表します。最終勝負の種目は黒ひげ危機一髪です!!アシスタントさん準備お願いします!!」

アシスタント達が巨大な黒ひげ危機一髪の樽×2と大量の剣をスタジオに運んできた。しかし、黒ひげをやるために必要な黒ひげ人形がなかった。

一方通行：(※以後一方)「オイ、黒ひげの人形ねエぞ?」

集：「その理由はすぐにわかります。つていつから居たんですか?」

一方：「巻いてる時からだがなんか問題でエもあんのか?」

いつの間にか一方通行がスタジオにいた。

楯無：「今回は最終勝負という訳で勝利したチームには50Pの得点が入ります。という訳で…… 確保オオオオ!!!」

当麻：「え？ってちよつと!？」

金三：「ちよ?! 離せよ!!」

楯無の声を聞いた大男達が当麻と金三を確保し、黒ひげの樽にふたりを入れて逃げられないように拘束する。

楯無：「これで準備は終わりました。これより最終勝負を開始します。」

金三：「ふざけんなっ!! 出しや」「えい（注：レキ）【ドスツ!!】」って
オイやめろオ!!」

金三が言い終わる前にレキが樽に剣を刺す。

当麻：「勘弁してください!! 助けてくだ「死ね!!（注：黒子）」って
コラアアアア!! 誰だ!! 今死ねって言ったヤツ!? 「当たれエ!!（※：注
一方）」だからやめろって!!」

二人の樽に次々と剣が刺さっていく。

数分後……

キンジ：「……」

美琴：「……」

雪菜：「え、えーと……」

これまで両チームは何も考えないで剣を刺していったのだが黒ひげのあるあるがここで発動してしまった。

なんと黒ひげの樽の穴と剣の残りが2つになってしまったのである。

確率は二分の一。最後の剣を刺すのはクロス高校チームからは雪菜が、学園都市チームからは土御門が刺すことになった。

金三：「オイ!! 絶対ハズレに刺すなよ!!」

雪菜：「わ、わかってます!! ええい!! 南無三!! 【ブスツ!!】」
……

クロス高校チーム「セーフ!!」

金三：「オツシヤアアアアア!!助かった!!」

最後までハズレを当てなかったので金三は解放された。

問題は学園都市チームの樽である。もしハズレだった場合当麻は樽から強制的に飛ばされる。

当麻：「土御門!!頼むからハズレ刺すなよ!!」

土御門：「だ、大丈夫だ!!確率は二分の一だ。絶対外れない!!だから安心しろ!!シヤア!!」【ブスツ!!】

ブー!!ブー!!ブー!!

楯無：「アウトオオオオ!!」

土御門：「あ、悪い上やん。ハズレだったわ。」

当麻：「だったわ、じゃねーよ!!」【プシュー……………】「ってなんだこの煙!?!」

当麻の樽から謎の煙が放出される。

集：「じゃあ上条さん覚悟してくださいね?」

当麻：「何を!?!」

集：「決まってるんじゃないですか黒ひげといたらやっぱりこれでしょう!!」〈ポーンツ♪〉

集は何処からかスイッチを取りだし何の躊躇もなくスイッチを押した。

ストオンツ!!!

当麻：「ギヤアアアアアア?!!ふこへドツカアアアン!!!」

当麻が樽から物凄いスピードで発射され天井に頭から突っ込む。

射出された当麻は天井突っ込んだ衝撃で気絶する。しかも何処かに引っ掛かったのか頭が抜けず頭からぶら下がっていた。

金三：「あ、アブツねー……………下手したら俺もあんなってたのか……………」

金三は天井からぶら下がっている当麻を見て自分がああならないで良かったと思っていた。

楯無：「という訳でこの勝負はクロス高校チームの勝利です!!これで最後の勝負終了しました。これより最終結果発表を開始します。

クロス高校チーム総合成績120点!!対する学園都市チームの総合成績90点!!よって優勝はクロス高校チームです!!おめでとうございます!!」

パアアンツ!!!↑クラツカーの音

ワアアアアア!!!

集：「おめでとうございます!!優勝したクロス高校の皆さんには賞金100万円と副賞として高級温泉旅館三泊四日が授与されます!!これでVS学校を終わります。最後までご視聴ありがとうございます!!」

完

おまけ

Side：クロス高校2-A教室

銀八：「バレンタインデーって正直リア充野郎かチョコ専門店だけのイベントだと思っただよ。という訳でクロス高校の日常不定期更新中です。」

古城：「先生ーさすがにそれは言い過ぎだと思います。」

一夏：「そうですね。いくら先生とBDがモテないからってデイスるのはダメだと思います。」

キンジ：「一応言っとくけどもうバレンタインデー過ぎてるからな。」

孝太郎：「あと作者をデイスるなよ一夏。」

銀八：「うるせえええ!!!そんなのわかってんだよ!!このハーレム野郎共!!あとキンジ!!メタ発言するな!!」

(※このオマケは2月19日に書きました。)

それはおいといて

銀八：「さて読者の皆さんも知っての通りこの話の更新が物凄く遅くなっている件について説明させていただくと、作者のBDは1月から某自動車学校に通っており、勉強やら技能(※実際に車に乗る授業)に加え、学校、試験などで話を考える時間がまったくなく、現在も本免許をとるため勉強中という状況だ。」

キンジ：「それ+作者がバレンタインデーの現実逃避としてFGO

(※fateのゲーム)のイベントをやったな。」

古城：「沖田総司からチョコ貰うためにな。」

(※FGOで出てくる沖田総司は桜セイバーと呼ばれており、女の子です。男ではありません。)

銀八：「まあそれはそれでおいといて、少なくとも3月までには免許は合格していると思うので、次の更新は早く出来ると思う。次の話が出るまでしばらく待って欲しい。という訳で今回のオマケは以上!!」

第九話 地獄の逃走訓練

第九話 地獄の逃走訓練

その日2―Aの一部メンバーとはある人物に呼び出された。

銀八：「つたく何でこんな時に呼び出し喰らうんだよ…」

古城：「知りませんよ…」

キンジ：「何かやらかしたとかじゃないですよね？」

千冬：「いや、それはない。そういう話だったら私達教師に連絡がくるはずだ。」

雪菜：「じゃあ何で私達今日ここに呼ばれたんですか？」

？：「それは俺から説明させて貰う!!」

何処からか謎の男の声が聞こえてくる。

レキ：「!?、誰ですか？」

松平：「お前らには地獄の逃走訓練を行って貰う!!」

一夏：「げえ!!とつつあん!!?」

シャル：「な、なんで松平おじさんがいるの!？」

謎の男… 松平が登場する。

ルース：「何で私達がそんな事しなくちゃならないんですか!？」

孝太郎：「そうだそうだ!!今日は休みだから思いつきり遊ぶ予定だったんだぞ!!」

松平：「うるせえええ!!俺だって今日は休みで久し振りにギャバ行くつもりだったのに今日のこれで行けなくなっただぞ!!」

キンジ：「行くなよ!!あんたここでは先生だろうが!!」

(※松平は原作役職は警察庁長官へ↑此方の方がもっとダメだが…)

松平：「そんな事はどうでもいい!!3つ数えるうちに逃走訓練に参加しろや!!じゃねーと撃つ!!」

千冬：「松平先生いくらなんでも理不〔松平〕…いーち」へドンツ!!!
てうわっ!!」

松平はまだ1しか数えてないのに何の躊躇いもなくバズーカを撃った。

銀八：「2と3はアアアアアア!!??」

松平：「バカ野郎!!男は1だけ覚えときや生きていけんだよ!!いいから参加しろ!!いーて」

銀八：「わかった!!参加する!!参加するからバズーカはやめろ!!」
という訳で逃走訓練参加決定。

松平：「よーし、それでいい。ではお前達にルールを説明する。

一つ、これからお前達には放出される鬼から逃げて貰う!!

一つ、制限時間は三時間!!鬼は一定時間経つと増加する!!

一つ、鬼に捕まるとキツイお仕置きを受けて貰う!!またお仕置きの内容は鬼の服に書かれている!!

一つ、鬼に捕まった数が少なかった三名には商品が与えられる!!
以上だ!!

十五分後動きやすい服装に着替えて中央広場に集合だ!!では解散!!

十五分後……

松平：「よーし、始めるぞ!!逃走訓練……開始イイイイイ!!」

松平の宣言と同時に鬼が放出される。

放出された鬼は三体。服に書かれた罰はハリセン、ケツバツト、ゴム弾だ。

銀八：「き、きたぞ!!逃げろ!!」

一夏：「ってか何でお仕置きの一つがゴム弾なんだよ!!危なすぎるだろ!!」

キンジ：「言ってる場合か!!」

(※クロス高校で使われるゴム弾は訓練用の弾ですが当たるととても痛いそうです。)

銀八達はバラバラになって逃げるが鬼の追いかけるスピードはとて早く、逃げ切ることは不可能に近い。

ルース：「ちよ、ちよと待っててください!!置いてかないてください!!」

孝太郎：「逃げてルースさん!!今は逃げる事だけ考えて!!」

この中で一番身体能力が低いルースが鬼の標的になった。

そして逃げ切れず……………

鬼×3：「……………」ガシツ×3

確保され……………

古城：「つていきなり3連発!？」

ルース：「ちよ、ちよつとやめ」

スパーンツ!!ズバーンツ!!ズカンツ!!(※ハリセン↓ケツバット↓
ゴム弾の順番)!!?

ルース：「ツ?!?!」↑声にならない悲鳴

ルース以外の逃走者：「うわあああ……………」

女の子に容赦ないお仕置きにメンバーはドン引きする。

銀八：「オーイ!!大丈夫か!？」

お仕置きを受けたルースの所に集まるメンバー達

ルース：「……………」↑あまりの痛さに悶絶中

孝太郎：「女の子相手に此処までやるか普通……………」

千冬：「確かにこれはやりすぎだな。」

一夏：「うん?つて千冬姉!!後ろ後ろ!!」

千冬：「え……………」?

千冬が後ろを向くとそこには……………

鬼：「……………」↑ハリセン

鬼：「……………」↑ケツバット

パァン!!ズバーンツ!!

千冬：「いつ!!」

【後ろからの不意討ち】

一夏：「大丈夫か!千冬姉!!」

千冬：「いてて、気を付けろあいつら容赦なく攻撃してくるぞ。」

レキ：「ええ、良くわかりました。」

開始から数分後

松平：「追加の鬼放出だ!!」

鬼が三体放出された。

今回追加された鬼は……………

ロシアンルーレット、パイ、タイキツクの三体だ。

銀八：「鬼増えたぞ!!逃げる!!」

孝太郎：「つて鬼こつち来た!？」

鬼が孝太郎を追いかける。

その数は二人。

孝太郎：「ヤバイヤバイこつち来るな!!あ、キンジあと頼むわ!!」

キンジ：「つてふざけんな!!何で俺が「ガシツ」」

【擦り付けられたキンジ】

鬼：「……………」↑パイ

鬼：「……………」↑ケツバット

ブチュリ!!ズバーンツ!!

キンジ：「ツ!!」

キンジ：「孝太郎オオオオ!!覚えてやがれエエエエ!!」

【激怒する元Sランク武偵】

孝太郎：「後でキンジには謝らねーとな。「ガシツ!!」つてマジですか!!」

鬼：「……………」↑ゴム弾

鬼：「……………」↑タイキツク

鬼：「……………」↑ケツバット

【天罰】

ズバーンツ!!ドゴンツ!!ズツガンツ!!(※ケツバット↓タイキツク

↓ゴム弾の順番)

孝太郎：「ギイヤアアアアアアアアアア↑断末魔の叫び

※キンジ視点

ギイヤアアアアアアアアアア!!????

キンジ：「プツ!!ざまあ!!」

開始から30分。更なる鬼が今追加されようとしていた。その鬼のお仕置きの内容とは……………

続く